

中小規模向けセキュリティシステム

savic-ssEZ



■ 概 要

savic-ss EZは、savic-net FX2 セキュリティで培ったノウハウを継承しながら、簡単に導入・操作できるよう進化した中小規模向け入退室管理システムです。

制御ゲート数160ゲート（扉）、出入ユーザー数3万人まで登録できます。

出入管理機能・侵入監視機能をそなえており、専用プロトコルのSI-net通信で伝達情報の機密性を確保します。

160扉まで管理可能ですので、自社ビル、工場、研究所、病院、テナント、企業など、さまざまな建物における中小規模領域でご利用いただけます。

本システムは、PCに専用ソフトウェアをインストールするだけで簡単に導入できます。また、見やすいメニュー構成や認識しやすい各種警報インジケータ、検索が容易な出入ユーザー管理、一目で状況が把握できるグラフィック表示など、オペレータが操作しやすい画面構成を実現しています。

さらに、アクセス・コントロール・ステーションⅢ（ACS-Ⅲ）と非接触ICカードリーダーの簡単構成で、セットアップ時間が短縮できます。

savic-net FX2 セキュリティへの拡張ができるので、将来、管理ゲート数が増えた場合でも対応が可能です。

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。

お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

システムを安心してお使いいただくために、定期的なメンテナンスが必要です。

詳細は弊社担当者にお問い合わせください。

使用上の制限、お願い

本製品は、建物や部屋の出入管理での使用を前提に、開発・設計・製造されています。

本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。放射線管理区域で本製品を使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

盗難や不法侵入などの犯罪を防止する装置ではありません。フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

■ 設計推奨使用期間について

本システムは、弊社で設計、開発、生産を行う内製品や、弊社で選定する汎用品等で構成されます。内製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、内製品に関して設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

savic-ss EZの設計推奨使用期間は、次表の通りです。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品ごとの保守に関しては、保守交換部品の項を参照してください。

製品名	設計推奨使用期間
ACS-III、B-NGW	10年
カードリーダー	10年
鍵管理ユニット-II	7年

■ 輸送時のお願い

本製品は、リチウム金属電池を使用しています。

本製品に使用するリチウム電池を同梱(組込)して航空 / 船舶輸送する場合は、IATA DGR / IMDG Codeに従い輸送を行ってください。

輸送会社に「リチウム金属電池を使用した内容物」であることを伝え、輸送会社の指示に基づいた手続きをしてください。

法令に基づく表示などを行わずに空輸、海上輸送すると、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

■ 「警告」と「注意」

 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合の注意事項です。
---	--

■ 絵表示

	記号は、危険の発生を回避するための特定の行為の義務付け(左図の例は一般指示)を表す場合に表示するものです。
---	---

 注意	
	安全のため取付け接続は、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。
	仕様書、施工説明書に定められた定格入出力仕様の範囲でご使用ください。装置故障の原因となることがあります。
	本製品は仕様書、施工説明書で明示されている使用環境に取付けてください。故障のおそれがあります。

■ 特 徴

★ シンプル構成

- 監視装置周りの機器構成がシンプルであり、PCに専用ソフトウェアをインストールする構成です。また、出入管理や侵入監視で必要となる基本的な機能を取り入れています。

★ 簡単操作

- 画面構成を、オペレータが直感的に操作できるレイアウトやメニュー構成となるよう配慮し、容易に監視/管理ができます。

★ エンジニアリング

- 新しいエンジニアリングツールにより、設定するACS-Ⅲ（アクセス・コントロール・ステーションⅢ）タイプを選択してドラッグ&ドロップするだけで、ポイント設定が可能です。また、グラフィック設定で動画シンボルと管理点の紐付けが自動化され、オンラインでの設定変更/ダウンロードが可能になり、より簡単な操作でエンジニアリングができます。

★ システム構成

- 基幹ネットワークは、専用プロトコルSI-net（IPv4）で構築します。
- ネットワークゲートウェイ（BACnet対応）を使用することで、BACnetのシステム（IEIEJ-G-0006-2006のみ）と接続できます。
- 警報や機器の状態変化、カード管理情報や出入履歴などのデータは、監視PCで管理できます。
- 電子ファイル化により、プリンタレス構成、ペーパーレス管理ができます。

★ 監視装置

- 監視PCのOSは、Windows 10 Proの64bit、Windows 8 / 8.1 Proの64bit、Windows 7 Professional の32/64bitに対応しています。
※ 指静脈認証機能を利用する場合は、Windows 10を使用してください。
- グラフィック表示画面に管理点の状態を表示できます。監視画面からスケジュール画面や各種一覧表示画面への移行、各種検索機能による情報検索ができます。
- 警報や機器の状態変化などの情報は、監視PCで表示/蓄積/出力可能であり、検索による情報の絞り込みや、コメントの書き込み機能により、情報の閲覧、加工が簡単にできます。システムから出力するCSVやPDF形式ファイルは、パスワードや暗号化により、保護できます。

★ アクセス・コントロール・ステーションⅢ

- 専用コントローラと必要な機器類を一体化することにより、小型省スペースを図り、既設改修物件や少ゲートシステムへの導入が容易です。
- 通信の断線などに備え、出入履歴情報の一時蓄積機能があり、データの欠落を防ぐことができます。

★ カードリーダー

- カードリーダーは、FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S、MIFARE、eLWISEに対応しています。
※ 読取可能なカードは、形番によって異なります。
- カラー液晶付の高機能タイプでは、カードリーダーから通行モード切替、一時施錠操作、扉開放許可などの手元操作が可能です。
※ スリム-IIタイプはメッセージ表示のみで手元操作はできません。

★ 指静脈認証装置

- 日立産業制御ソリューションズ製の指静脈認証装置FVA-100JL/FVA-100SLが接続可能です。

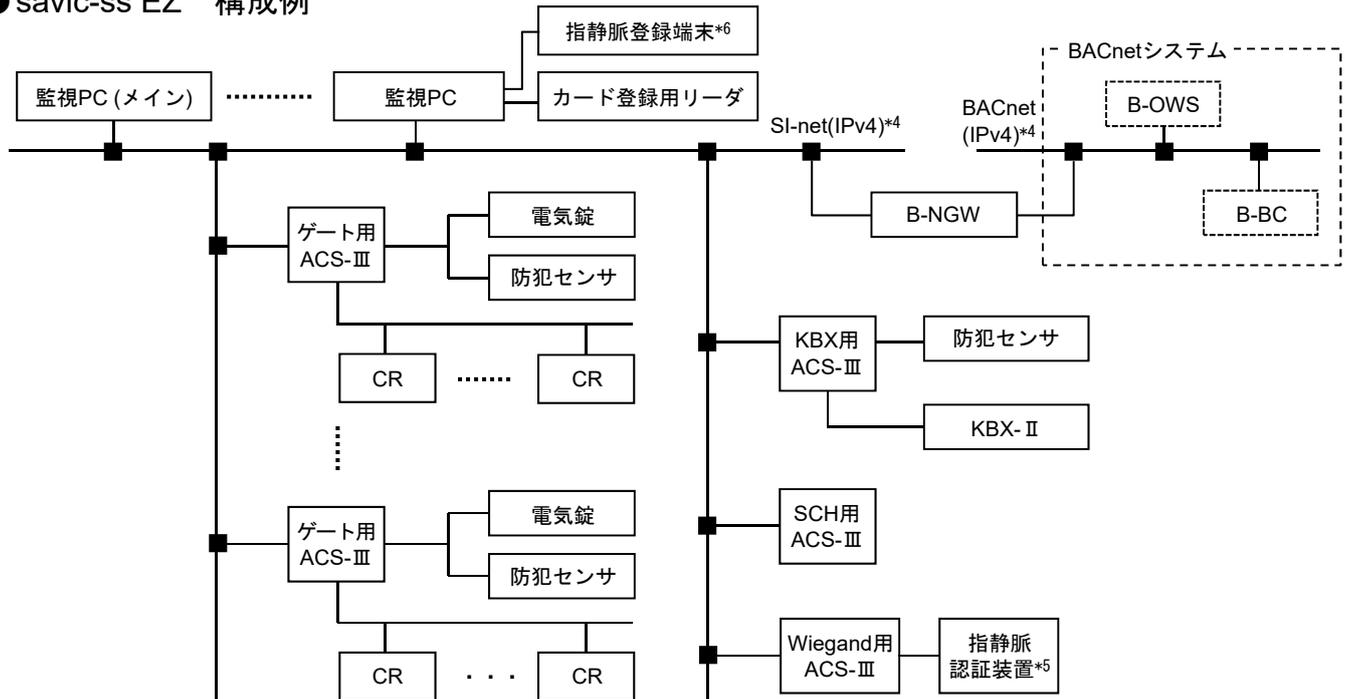
★ 保守サービス

- 全国をカバーするメンテナンス拠点を有しています。全国どこでもサポート可能です。
- 緊急時の部品の早期出荷体制を構築しています。

★ 機能拡張

- 在室者管理モデルや、外部連携モデルといったソフトウェアの上位モデルでは、より高度な管理機能を実現できます。
- 鍵管理ユニット-II、SCH用ACS-Ⅲ、カード登録用リーダーといったハードウェアを追加することで、より高度な管理機能を実現できます。

● savic-ss EZ 構成例



- *1 監視PCは監視PCメインを含め8台まで接続可能です。
- *2 ACS-Ⅲ単位で最大8ゲートまで接続可能。(ACS-Ⅲは最大20台/1システム)
- *3 制御ゲート数は160ゲート(扉)まで、接続カードリーダー数は入室のみで160台、入退では320台まで接続可能です。
ただし、最大160台(入退の場合は320台)の構成を実現するには、ACS-Ⅲ20台すべてが8ゲート用である必要があります。
- *4 実際の機器配置に応じて、1台以上のSW-HUBが必要になります。
ただし、ACS-Ⅲ内蔵のESWで代用する場合があります。
SI-netは専用ネットワークとして構築してください。
クラスCの同一ネットワーク(同一セグメント)で構築する必要があります。
- *5 日立産業制御ソリューションズ製の指静脈認証装置FVA-100SL、FVA-100JLが接続可能です。
- *6 日立産業制御ソリューションズ製の指静脈登録端末PCT-KCUA011が接続可能です。

図1 システム構成例

表1 記号説明

記号	名称
ACS-Ⅲ	アクセス・コントロール・ステーションⅢ(Access Control StationⅢ)
KBX-Ⅱ	鍵管理ユニット-Ⅱ(Key Box-Ⅱ)
CR	カードリーダー(Card Reader)
B-NGW	ネットワークゲートウェイ(BACnet対応)
B-OWS	BACnet Operator Work Station
B-BC	BACnet Building Controller

表2 システム構成機器概要

機器名称	概要
監視PC (メイン) *1	<p>マスタデータ*2を有するメインとなる監視PCです。</p> <p>通常は建物全体を運営管理する監視室に設置されますが、同一セグメントで専用ネットワークを敷設できる場所であれば、どこでも設置できます。</p> <p>監視PC上では、各種設備の状態・警報などの監視、スケジュール設定などの操作、出入履歴・警報状態などの各種データのファイル出力・解析が行えます。</p>
監視PC *1、*3	<p>メイン以外の監視PC。監視PCを複数台設置して、複数の管理者による同時監視や、防犯管理室、事務室などの複数の場所での監視が可能です。</p>
アクセス・コントロール・ステーションⅢ (ACS-Ⅲ)	<p>アクセス・コントロール・ステーションⅢ (ACS-Ⅲ) は、専用コントローラと必要な周辺機器を内蔵し、電気錠や自動扉/ゲート装置の制御や、パッシブセンサからの検知信号の監視をします。</p> <p>制御動作は自律的に動作するので、システムの他の部分が停止していても正常に動作を継続します。</p> <p>監視PCと通信し、監視PCから設定値などの変更を受け付け、制御結果などのデータを返送します。</p> <p>また、入退室が許可されているユーザーの認証データを内部のメモリ上に保持し、カードリーダーなどの認証端末から送られてくるカードのIDコードなどと照合し、結果を判定(入退室許可/不許可)します。</p>
カードリーダー (非接触ICカードリーダー)	<p>入退室を行う出入ユーザーがかざすカードの内容を読み取って、その内容をACS-Ⅲへ送ります。</p> <p>対応ICカード：FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S、MIFARE、eLWISSE</p> <p>* 読取可能なカードは、形番によって異なります。</p>
カード登録用リーダー	<p>カード登録用リーダーは、監視PCにカード読み取りの機能を付加することができます。</p> <p>それにより、出入ユーザー登録時のカードデータ入力の手間を軽減します。</p> <p>監視PCへのログインにカードを使用する、アクセスカードログイン機能を使用可能にします。</p>
鍵管理ユニット-Ⅱ	<p>本体のカードリーダーでカードを照合し、鍵の貸出・保管を制御します。</p> <p>対応ICカード：FeliCa、MIFARE、eLWISSE</p>
SCH用ACS-Ⅲ	<p>通行時間帯スケジュール機能を使用する場合に必要な専用ACS-Ⅲです。</p> <p>接続可能台数：1台/システム</p>
指静脈認証装置	<p>入退室を行う出入ユーザーが指を認証装置に置くと指静脈情報を読み取って、ACS-Ⅲに送ります。</p> <p>対応機器：日立産業制御ソリューションズ製の指静脈認証装置FVA-100JL/FVA-100SL</p>
指静脈登録装置	<p>出入ユーザーの指静脈を登録することができます。</p>

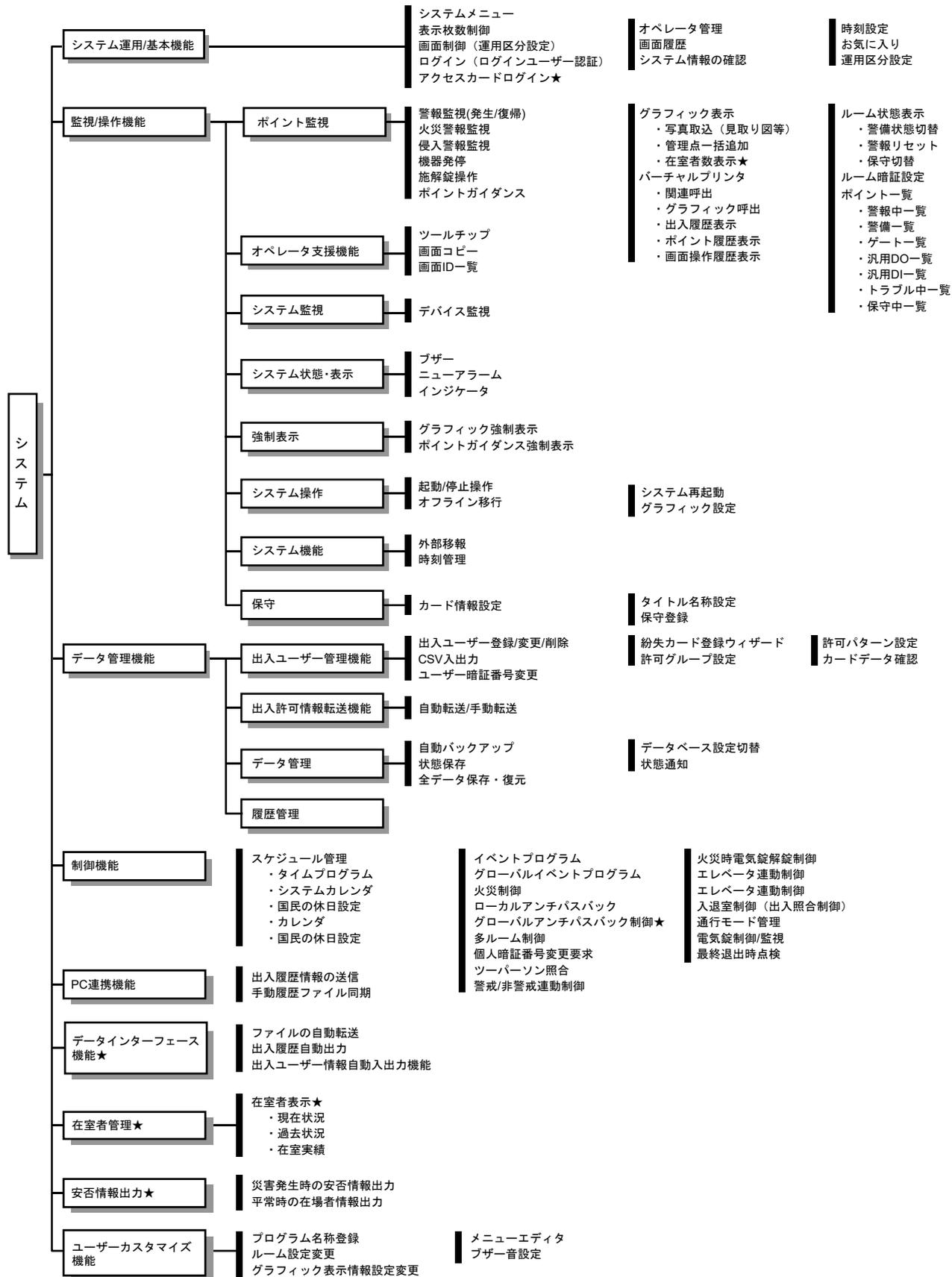
*1 監視PCソフトウェアはアンバンドルで提供します。

*2 通常は、監視PC (メイン) が持つデータがマスタとなります。

*3 2台目以降の監視PCを接続する場合、監視PC (メイン) のマスタデータを参照して、出入ユーザーなどを表示します。

■ システム機能一覧詳細

(次ページ以降で各機能について説明しています)



★ オプション機能

図2 システム機能一覧詳細

■ システム運用/基本機能

システムのエディターが使用する監視PCは、直感的に操作できるシステムメニューを備えています。また、ログインするエディターIDごとに利用可能な機能範囲を分けることができ、きめ細かなセキュリティ性を実現します。

表3 システム運用/基本機能

機能	内容
システムメニュー	システムメニューには、お使いのsavic-ss EZで使用できる機能名が表示されています。
表示枚数制御	20枚の画面を同時に重ね合わせ表示できます。20枚の画面を表示しているときでも、警報発生による強制画面表示は別に行われるため、警報発生前まで行っていた業務に支障を与えません。 <ul style="list-style-type: none"> グラフィック表示は、4枚まで同時表示できます。(合計20画面の範囲) バーチャルプリンタの現在状況表示は同時に複数表示できません。
画面履歴	savic-ss EZにログインしてから表示した画面のうち、最新20件までの画面履歴を表示し、選択した画面を表示できます。
画面制御 (運用区分設定)	オペレータ (オペレータID) ごとに監視・操作できるポイント、グラフィック表示・監視・操作できる画面を制限する機能です。最大32の運用区分に設定でき、運用区分ごとに、表示可/不可、操作可/不可を設定できます。 (ポイント、デバイスごとに運用区分32区分の有効/無効を設定できます。オペレータごとに、各運用区分に操作レベル、警報ニューアラーム/インジケータ、ブザーの有効無効を設定します。)
ログイン (ログインオペレータ認証)	オペレータIDとパスワードでログインします。 ログアウトオペレータが定義されており、ログアウト状態での監視ができます。
アクセスカードログイン	カード登録用リーダを使用することで、出入ユーザーデータとして登録されたカードを使った、ログインが可能になります。(ログイン時にカード操作を必須とする運用、またはオペレータIDの入力補助としてのみ使用する運用が選択可能)
オペレータ管理	オペレータごとに、オペレータ情報の設定、アクセス権の設定、運用区分の設定を行うための機能です。各オペレータは管理者が定めたアクセス権に従い操作・表示できる画面が制限されます。また運用区分に従った警報とブザーの操作・表示が可能です。オペレータ登録数の上限は100、オペレータに設定するアクセスレベルは、操作可、表示のみ可、表示不可の3レベルと印刷可、データ出力可を組み合わせで定義可能です。自動でログアウトするときのログアウト時間を設定可能です。(初期値は10分)
画面コピー	表示されている画面をキャプチャーし、その画像を保存、印刷する機能です。
画面ID	各機能メイン画面の最下部左には、4桁の数字の画面IDが表示されます。画面IDは各画面に付けられている固有のNoで、画面IDを直接指定して画面を表示したり、機能の設定で画面を指定したりする場合に使用します。
画面ID一覧	画面IDを一覧で表示します。
システム情報の確認	savic-ss EZの監視/管理プログラムのバージョンや、監視PCの情報を表示/確認できます。
時刻設定	システムの時刻を設定します。設定はどの監視PCからでも操作が可能です。
お気に入り	よく利用する画面をユーザーメニューとして、最大20画面登録できます。お気に入り登録することにより、見たい画面に1アクションで効率よく移行できます。
ツールチップ	ボタンやメッセージにマウスカーソルを重ねると、ボタンの機能やメッセージが、ツールチップに表示されます。

■ 監視/操作機能

豊富な情報表示機能、簡単でわかりやすい操作により、オペレータが正確な情報を把握できるとともに、効率的な監視作業ができます。また、イベントプログラムを利用して、火災時の電気錠連動制御を行うなど、監視・制御の自動化により、監視業務の負荷を軽減できます。

表4 監視/操作機能

(1/3)

機能	内容
警報監視	<p>何らかの警報が発生した場合、ブザー鳴動、ニューアラーム表示の更新、発生した警報に応じたインジケータ表示を行います。</p> <p>また、バーチャルプリンタに履歴情報の記録を行います。</p> <p>ブザーは、4レベルの警報種別ごとに異なる音種で鳴動します。</p> <p>警報の発生個所/種類としては、ポイント、発停失敗、火災、機器の通信無応答、機器こじ開け(タンパ)、紛失カード使用、などがあります。</p>
火災警報監視	<p>火災発生の信号を監視するポイントが警報になると、火災発生の通知を行います。</p> <p>他の警報と同じく、各種出力を行うとともに、あらかじめ設定しておいたイベントプログラムにより、電気錠の自動解錠を行う設定もできます。</p>
侵入警報監視	<p>ACS-Ⅲに接続された防犯回線が、夜間などの警戒モード下で侵入を検知した場合、警報を発します。</p>
施錠操作	<p>カードリーダーで施錠/解錠ができます。</p>
遠隔施錠操作	<p>グラフィック表示、ポイントの詳細画面から、施錠/解錠の切替ができます。</p>
グラフィック表示	<p>ポイントの状態を簡易的なグラフィックで表示する機能です。監視PCがオンラインでもオフラインでも変更可能な、簡易的なグラフィック作成機能があります。パワーポイントなどのソフトで作成した見取り図を取り込んで、その上に、建物内の各ポイントアイコンをルーム単位でまとめて追加できます。</p>
バーチャルプリンタ	<p>バーチャルプリンタは、savic-ss EZに蓄積された履歴データを表示する機能です。グラフィック呼出、関連呼出など便利な機能も備えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出入履歴蓄積 <p>カードリーダーなどで照合操作を行うと、そのユーザーおよび管理点(カードリーダー)の情報を月/日/時刻とともに、各監視PCに蓄積します。管理点に関する蓄積は、ポイントごとに蓄積の有無を指定でき、あらかじめ蓄積の必要性を判断した機能運用を行います。</p> <p>各監視PCは、最新の400日分を保持し、検索により最大5,000件を表示します。また、検索結果をCSV形式で出力できます。</p> <p>出力されたCSV形式ファイルは、市販のデータベース/表計算ソフトウェアなどにより加工を行うことが可能となり、データの有効活用を図ります。</p> ● 出力ファイル形式 <p>表示中の履歴出力 : CSV形式</p> <p>蓄積履歴出力 : CSV形式(拡張子.txt)</p>
パスバックリセット	<p>出入ユーザー情報に登録されている単一出入ユーザー、または全出入ユーザーに対してコントローラおよびデータマスタに記録されている区画情報をリセットし、許可されている範囲で一時的にどの区画にも入退室できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バーチャルプリンタからのパスバックリセット <p>バーチャルプリンタの「出入履歴」画面から、パスバック違反の出入ユーザーを選択して、パスバック状態をリセットできます。</p>

機能	内容
ポイントガイダンス	<p>savic-ss EZでは、警報発生時に実施すべきことやポイントの説明などを、ポイントガイダンスとして、バーチャルプリンタ、グラフィック表示、ポイント一覧などの画面から表示させることができます。たとえば、火災などの重要な警報が発生したときの処理方法や連絡先をポイントガイダンスとして設定しておくことで、オペレータが警報に対してすみやかに適切な処置をとるための手引きとすることができます。</p>
ルーム状態表示	<p>システムに接続されているコントローラの警備、回線、電気錠、カードリーダ、鍵の各ポイントの状態をルーム単位で確認できます。カードリーダの通行モードの切り替えなどの操作も行えます。</p> <p>ルームごとに設置されているポイントの状態を一覧表示します。これらのルームをまとめて1つの「フロア」として定義できます。フロアは、複数のルームを1つにまとめた概念で、フロアとルームの関係をあとから変更することもできます。フロアの設定は、フロアとルームがツリー表示される「フロア設定」画面で追加・変更・削除できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出入履歴表示 各ルームの出入履歴を表示します。 • 在室者表示 各ルームの区画別在室者一覧を表示します。 • ポイント操作 発停操作、詳細設定、スケジュール設定ができます。
ポイント一覧機能	<p>ポイント一覧とは、ポイントを種別や状態別に一覧表示する機能です。また、検索機能を使うことで、より細かな条件での一覧表示を行います。さらに、発停機能のあるポイントに対するコマンド送出などを行います。</p> <p>警報中一覧 : 現在発生しているポイントの警報を一覧形式で表示する機能 警備一覧 : 警備のポイントの一覧が表示されます。 ゲート一覧 : ゲートのポイントの一覧が表示されます。 汎用DO一覧 : 一般DO、一時施錠、照合OK、照合NG、照合停止、リーダ運用切替、警報リセットのポイントの一覧が表示されます。 汎用DI一覧 : 一般DI、全ルーム警備、全ルーム侵入、移報出力結果のポイントの一覧が表示されます。 トラブル中一覧 : トラブル中のポイントの一覧が表示されます。現在発生しているポイントのトラブル状態を一覧形式で表示する機能 保守中一覧 : すべてのポイントの中で、保守登録されたポイントを一覧形式で表示する機能</p>
ポイント操作	<p>ポイントが有している多くの情報表示や、警報のリセット、機器の発停操作や設定操作を行います。各管理点のタイムスケジュールといった、さらに細かな情報を表示できます。</p>
デバイス監視	<p>各監視PCからコントローラの通信状態、監視PCの状態を表示します。</p> <p>システムの運用中に、各デバイスの機器のデバイスID、名称、状態、火災状態、構成機器状態、ポイント状態を一覧で表示します。</p>
ニューアラームブザーインジケータ	<p>警報発生時、ニューアラーム領域に警報の内容を表示します。システムの状態を常時監視し、警報が通知されるとインジケータ(アイコン)、メッセージ表示(ニューアラーム)、ブザー鳴動、グラフ表示強制表示およびポイントガイダンス強制表示を行います。</p>
強制表示	<ul style="list-style-type: none"> • グラフィック表示 警報発生時に警報発生ポイントのグラフィック画面を強制表示します。 • ポイントガイダンス 警報発生時にポイントガイダンスを強制表示します。
警報リセット	<p>ポイント操作画面からコントローラに警報リセットを行います。</p> <p>未確認警報一覧(バーチャルプリンタ)で確認操作を行ったときも警報リセットを実行できます。</p>
起動操作(オンライン・オフライン切替、再起動)	<p>オンライン・オフラインの切替を行います。再起動も可能です。</p>

機 能	内 容
外部移報	警報発生時に接点出力します。 警報レベルに応じたポイントから出力を行います。外部入力によりリセット出力することもできます。
ホーム画面設定	お気に入り設定機能で設定したショートカットのうち1つを、ログイン直後に表示する画面として設定できます。
関連画面移行表示	グラフィック表示上に画面移行用のシンボルを割り付けておくと、そのシンボルを選択する操作により、別のグラフィック画面へ移行できます。
スケジュール表示/設定	個々のポイントに対して、設定しているタイムスケジュールの内容を表示できます。また、設定もできます。
保守登録	ポイントを制御やスケジュールの対象から外す設定ができます。保守、点検時に使用する他、警報を一時的に発生させたくない場合などに使用できます。

●グラフィック表示機能

動画と静止画を使用して、ポイントを含む設備の状態を、グラフィックで表示し、監視/操作する機能です。グラフィック表示上のポイントのシンボルをクリックすると、関連するダイアログが開き、状態確認や操作を行うことができます。

別の「グラフィック表示」画面に移動します。

「区画別在室者一覧」または「区画グループ別在室者一覧」画面が表示されます(オプション機能)。

「グラフィック表示」画面上のシンボルをクリック

「ポイント操作」ダイアログでポイント情報の確認と設定ができます。

入室日時	在室時間	管理No.	氏名	所属	所属2
2015/03/25 14:59:05	00:02	00002000	内田 尚彦	○○○不特定	警備員
2015/03/25 14:59:05	00:02	00005300	盛名 隆子	△△△不特定	社員
2015/03/25 14:57:55	00:04	00002810	熊倉 洋一	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:58:15	00:05	00014100	佐野 あゆみ	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:54:35	00:07	00009430	戸倉 智恵	△△△不特定	社員
2015/03/25 14:52:30	00:09	00004200	佐川 智樹	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:58:55	00:09	00003870	宮川 隆子	△△△不特定	社員
2015/03/25 14:51:15	00:10	000021300	岡山 真理	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:49:35	00:12	00005000	高田 謙	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:47:55	00:14	00005500	一ノ木 真子	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:47:55	00:14	00006730	谷村 拓子	○○○不特定	警備員
2015/03/25 14:48:15	00:15	00004140	宮田 勲	○○○不特定	警備員
2015/03/25 14:44:35	00:17	00006960	相 知子	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:42:55	00:19	00003300	1 世	○○○不特定	社員
2015/03/25 14:43:00	00:19	00004250	香取	△△△不特定	社員
2015/03/25 14:41:15	00:20	00003900	横倉	△△△不特定	社員

図3 グラフィック表示機能

●バーチャルプリンタ

バーチャルプリンタは、savic-ss EZに蓄積された履歴データを表示する機能で、指定した条件で絞り込んだ履歴データを表示することができ、システムにて収集・蓄積される膨大な情報を効果的に活用することができます。マスターデータに蓄積されているシステムの運転に関する情報を、目的別に、PDF形式やバーチャルプリンタにて表示しますので、ペーパーレスと資源の節約につながります。

各種情報を解析/分析を行うことで、建物の安全性の確保、設備状況の把握の実現を支援します。

バーチャルプリンタでは次のような履歴データを表示することができます。

- ・ 出入履歴
(出入ユーザーの入退室履歴、パスバックリセットなどアンチパスバック制御に関連する操作履歴)
- ・ 発生した警報
- ・ ポイントの状態変化
- ・ ポイントの設定変化
- ・ savic-ss EZの画面操作
- ・ パスバック制御の操作

「バーチャルプリンタ」画面は、「出入履歴」、「ポイント履歴」、「画面操作履歴」のそれぞれの履歴画面に合わせて操作パネルを切り替えて、出入ユーザーの入退室、ポイントの状態変化や画面操作などの履歴を表示します。



図4 バーチャルプリンタ

バーチャルプリンタの出入履歴表示からは、次のような画面に遷移することができます。

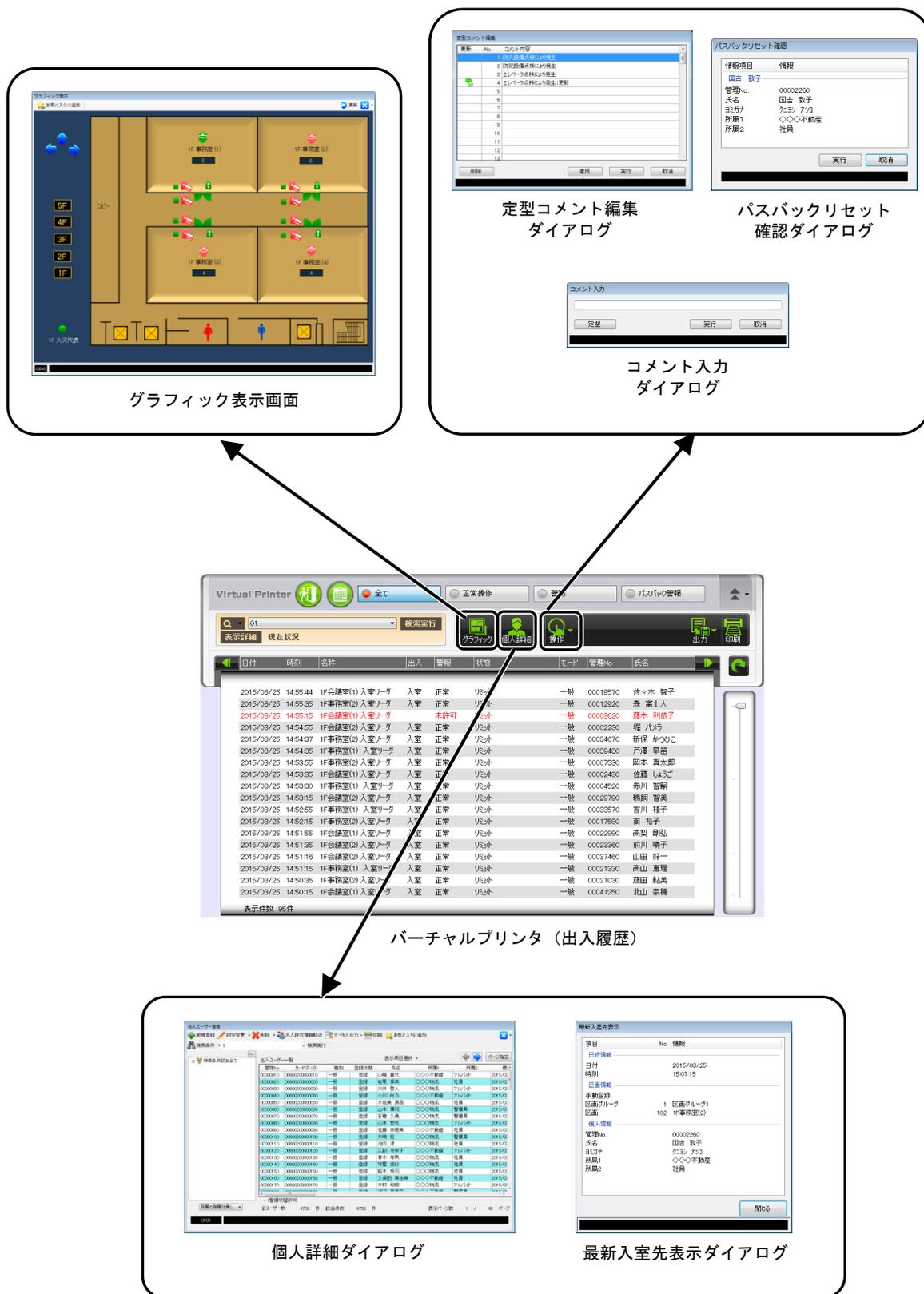


図5 バーチャルプリンタからの遷移

● ルーム状態表示

ルームに設置されているポイントの状態を表示する機能です。

フロアおよびルームは、ツリー表示され、ルームを選択するとルーム内の各ポイントの状態を表示できます。また、「ルーム状態一覧」のポイントをクリックして、「ポイント操作」ダイアログを開き、ポイントの状態確認や操作を行うことができます。

グラフィック表示画面なしでも、ルーム状態表示機能で、各ルームの在室者数や警備状態、回線状態などが監視できます。

The screenshot shows the 'Room Status Display' window with the following data table:

警報	名称	在室者数	警備	回線	ゲート	リーダー	鍵
	フロア1	1					
	1F事務室(1)	1	🚒	—	🚪	👤	—
	1F事務室(2)	0	🚒	—	🚪	👤	—
	1F事務室(3)	0	🚒	—	🚪	👤	—
	1F事務室(4)	0	🚒	—	🚪	👤	—
	1F火災入力	0	🚒	—	—	—	—
	SCH用火災入力	0	🚒	—	—	—	—
	鍵管理ボックスNo.1	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.2	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.3	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.4	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.5	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.6	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.7	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.8	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.9	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックスNo.10	0	🚒	—	—	—	🔑
	鍵管理ボックス 火災入力	0	🚒	—	—	—	🔑

The screenshot shows the 'Room Status Display' window with the following data table for '1F 事務室(1)':

ポイントID	名称	警報	コマンド	状態
000.0101.01	1F 事務室(1) 警備		***	非警戒
000.0101.02	1F 事務室(1) 入室リーダー	正常	***	フリー
000.0101.03	1F 事務室(1) 退室リーダー	正常	***	フリー
000.0101.04	1F 事務室(1) 電気錠	正常	***	施錠
000.0101.05	1F 事務室(1) 電気錠(扉)	正常		
000.0101.06	1F 事務室(1) 入室タンク	正常		
000.0101.07	1F 事務室(1) 退室タンク	正常		

The 'Point Operation' dialog box shows the following details for '1F 事務室(1) 退室リーダー':

状態	操作
正常	<input type="radio"/> クローズ
SIL	<input checked="" type="radio"/> リミット
リミット	<input type="radio"/> フリー

実行ボタン

000.0101.03 DO HOL 0101.READ0102.1.09.00.01

図6 ルーム状態表示

■ 出入ユーザー管理

所属・氏名などの個人情報を中心としたわかりやすい表示・操作・検索機能により、大勢のユーザーを容易に管理できます。

さらに、ユーザー情報をCSV形式にて出力/取込ができ、他データベースの情報をを用いることができるので、ユーザー管理を効率的に行えます。

出入ユーザー情報を、目的別に、イメージ形式や表形式で表示できます。



図7 出入ユーザー管理

表5 出入ユーザー管理

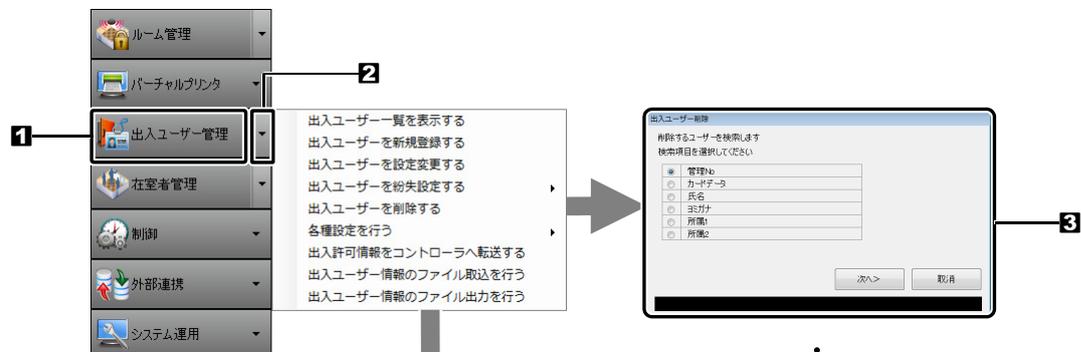
(1/2)

機能	内容
出入ユーザー管理の概要 (最大30,000件)	建物や部屋の出入を行う出入ユーザーの情報管理を行います。IDカードを使うユーザーを設定し、これら出入ユーザーの登録や削除、各種検索条件による表示、情報設定、属性コピーができます。 また、管理No.が数値のみの場合だけ、連続したNo.で一括登録ができます。監視PCで作成したユーザーの情報を、コントローラへ転送(ダウンロード)することにより、出入運用ができます。
指静脈データ登録ユーザー数 (最大6,000件)	出入ユーザー管理に指静脈認証装置を使うユーザーを設定できます。 指静脈データ登録数：最大12,000指/指静脈認証装置 最大2指(1ユーザーあたり)
出入ユーザー登録	出入管理に必要な出入情報(入室許可ルーム・暗証番号・特権・ユーザー登録状態・有効期限など)と個人情報(所属1、所属2、氏名、ヨミガナ、性別・年齢・生年月日・備考1～5)の設定を行います。さらに、複数のユーザーに共通の内容については、他のカードに属性をコピーでき、管理の負担を軽減します。 備考1～備考5の項目名はシステム一括で変更可能です。 ルーム名称登録：2,000件/システム グループ登録：2,000件/システム(200ルーム/グループ) 所属1、2名称登録：各30,000件/システム
テンプレート	出入ユーザー登録を簡略化するために、ユーザーのパターンをテンプレートとして設定できます。
出入ユーザー削除	ユーザーを削除すると、管理No.などの情報がデータベースから消去され、システムで使用できなくなります。検索されて画面に表示しているユーザーを個別、または一括で削除できます。
出入ユーザー検索	出入情報と個人情報の各項目の任意の条件で、出入ユーザーを検索できます。検索条件に名称を付けて登録しておくと、次回からは名称リストからの選択だけで済み、検索作業が容易になります。1件の検索条件には、5つまで項目を設定でき、全項目のANDやORの設定やソート条件の設定を行えます。 検索条件登録：最大20件/オペレータ
出入ユーザー一覧表示 (100ユーザー/画面)	設定された検索条件に該当するユーザーの管理No.、カードデータ、登録状態、氏名、所属名を一覧表で表示・印刷します。
出入ユーザー個別表示 (1ユーザー/画面)	出入ユーザー一覧表示より出入ユーザーを1人選択すると、そのユーザーに関するすべての情報を表示でき、出入ユーザーの確認、情報設定などに効果的です。
発行回数制御	カードの発行回数にて制御を行います。 カードを紛失した場合に、発行回数以外の登録情報を変更せずに再発行ができます。異なる発行回数のカードが使用された場合、紛失カード警報となります。
未使用カード検索	カードの最終操作日、未使用日数を検索することができます。

機 能	内 容
コントローラへの転送	<p>出入ユーザー情報（展開が必要な項目のみ）に変更があった場合、1日1回（深夜03：00）、コントローラに出入ユーザー情報を自動転送します。</p> <p>監視PC（メイン）に定義されているすべて（1つまたは複数のコントローラが選択可能）のコントローラに対して、監視PC（メイン）に登録されている出入ユーザー情報を通知できます。転送される情報の詳細は次の内容です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出入ユーザー情報 カードデータ/管理No./全ルーム指定/ルーム許可指定/特権情報/性別/暗証併用/登録状態/暗証No./有効期限/スケジュールパターンNo./操作者種別、/管理区分/カレント区画 ● カード情報 カードデータ桁数/発行回数桁数/カード種別コード ● ドア情報 アンチパスバックか入室管理ありのときは、ドア情報を転送します 通行時間帯スケジュール機能が有効の場合、ルームスケジュール情報をコントローラに転送します。 ● カード登録件数情報 転送した出入ユーザーの総件数を通知します。 ● 指静脈情報 照合レベル/暗証併用/指静脈データ ● 転送履歴 出入許可情報転送の操作履歴を記録します。 履歴には、モジュール情報（モジュールNo,モジュール名称）、展開操作開始日時、展開終了日時、正常終了したのか、異常終了したのかがわかる情報、異常終了した場合は異常原因が特定できる概略情報が記録されます。
出入ユーザー情報 CSV出力	<p>各出入ユーザー情報(氏名、管理No.など)をCSV形式で出力する機能です。</p> <p>出入ユーザー情報の各項目を指定した順に、対象となる出入ユーザー情報のみを出力できます。</p> <p>出力ファイル形式 : CSV形式(Comma Separated Value)</p>
出入ユーザー情報 CSV取込	<p>登録する出入ユーザー情報の項目(氏名、管理No.など)をCSV形式のデータファイルで取り込み、出入ユーザー情報として登録します。</p> <p>取込元データファイル内のデータ項目順序は、特に指定せず、本機能において項目順序を設定し、取り込めます。</p> <p>入力ファイル形式 : CSV形式(Comma Separated Value)</p>
カード内個人情報の蓄積	<p>カード内に個人を識別する情報がある場合、照合時にカードリーダーに読み取らせ、出入履歴をあとで個人ごとに識別したい場合に活用するものです。</p> <p>カードリーダーとの照合をグループNoで行う場合、個人を特定できる履歴を表示したい場合などに使用します。</p>
出入許可設定変更履歴参照	<p>監視PCごとに出入ユーザーデータの新規登録、変更、削除などの更新操作の履歴を残し、管理者による参照を可能とします。また、出入ユーザーごとの情報としても、どのオペレータがいつ新規登録したのか、最後に設定変更したのはいつなのかを記録しています。また、出入ユーザーごとの情報としても、どのオペレータがいつ新規登録したのかや、最後に設定変更したものはいつなのかを記録しています。いつ、誰を、どのように更新したのかが、あとで容易にわかります。</p>
カード登録用リーダー接続	<p>カード登録用リーダー接続機能では、監視PCに接続されたカード登録用リーダーから、該当のカードのカードデータ自動読み込みを行います。自動読み込みされたカードデータを出入ユーザー管理画面へ反映させ、手作業によるカードデータ入力業務を不要とします。</p> <p>また、カードデータが刻印されていないカードデータの確認（該当カードが読み取り可能かどうかの確認）、該当カード登録内容の即時表示も可能となり、効率的な運用を実現します。</p> <p>対応カード : FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S、MIFARE、eLWIS</p>

● 出入ユーザー管理のウィザード

- 1の[出入ユーザー管理]ボタンをクリックすると、メイン画面に「出入ユーザー管理」画面が表示されます。
- 2の[▼]をクリックすると、主要な出入ユーザー管理の操作が一覧で表示され、直接目的の画面を表示できます。[▼]から表示する場合、メニューによっては下図のように検索ウィザードが表示されます。



各機能の画面が表示されます。

目的に応じて選択した画面が表示されます。

ウィザードで検索した結果がメイン画面に表示されます。

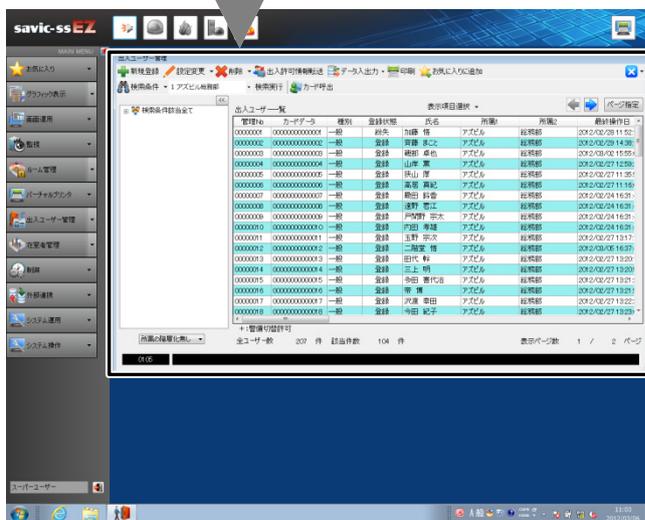


図8 出入ユーザー管理

■ データ管理

savic-ss EZは、自動バックアップ機能を備えています。

また、監視PCを8台まで接続できますので、通信断などの事態に備えることができます。

表6 データ管理

機能	内容
自動バックアップ*2	<p>1日に1回、本システムのデータを自動で保存することができます。保存されるデータには、「全データ保存ファイル」と「状態保存ファイル」の2種類があります。</p> <p>1) 全データ保存ファイル 自動バックアップ設定機能の「全データ保存」を「有効」に設定することで、現在の該当テーブル、レジストリ、ファイル、およびフォルダがバックアップされます。監視PCが故障した場合に、このバックアップされたデータを使用して復元させることができます。</p> <p>2) 状態保存ファイル 自動バックアップ設定機能の「状態保存」を「有効」に設定することで、監視PCが保持する各種設定データやログなどが保存されます。この保存されたデータは障害発生時の原因解析情報として利用できます。 また、保存された「全データ保存ファイル」と「状態保存ファイル」は、自動で他のPC (FTPサーバ)に転送することができます。</p>
PC連携機能	<p>各監視PC*1は監視PC（メイン）から、1日1回出入履歴情報の取得を行っていますが、通信断や、監視PC（メイン）のトラブルなどで、データ送付が滞った場合に、手動で監視PC*1から監視PC（メイン）のデータの取得を行うことができます。</p> <p>また、各監視PC*1で蓄積された画面操作履歴を通信断や監視PC（メイン）のトラブルなどで監視PC（メイン）側に送信できなかった場合、手動で、監視PC*1から、監視PC（メイン）に送信できます。</p>
手動履歴ファイル同期	<p>手動履歴ファイル同期機能を使って、次の操作を行い、縮退運転の補完作業に備えることができます。</p> <p>監視PC*1から操作できる事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 監視PC*1の「画面操作履歴」を監視PC（メイン）に送付できます
監視PCデータ冗長化	<p>監視PCのデータ冗長化により出入ユーザーデータや在室者管理データなどの一部データが冗長化された状態で管理されています。</p> <p>各監視PCがデータを持つことでデータのバックアップにもなります。</p> <p>また、監視PC（メイン）にトラブルがあっても、他の監視PCで運用を縮退継続できます。</p>

*1 ここでは、メイン以外の監視PCを意味します。

*2 監視PC(メイン)のみの機能です。復元は、手動で行います。

■ 制御機能

カレンダーマスタと時刻管理スケジュールデータにもとづく、各部屋・各エリアのタイムプログラム制御を実行します。また、火災などの特定のイベント発生時には、あらかじめ登録しておいたイベントプログラムが自動的に実行されます。

また、建物内の出入管理制御をトータルで管理して、効率的なセキュリティ管理を実現します。

カードリーダーとコントローラにより、各部屋・各エリアへの入退を権限ユーザーのみが行うように確実な出入管理制御を実現します。

表7 制御機能

(1/2)

機能	内容
時刻同期	監視PC(メイン)はシステムに接続する各モジュールに対し、時刻の通信メッセージを送信し、自動的に時刻合わせを行います。 監視PC(メイン)、コントローラのいずれかの時刻を基準にするか選択できます。
システムカレンダー/ 個別カレンダー/ 年間固定日	建物で共通する休日や特別日を、システムカレンダーとして設定します。 また、個別にカレンダーを設定したい場合は、システムカレンダーの設定内容を展開したカレンダーに手動で変更し、個別にカレンダーを設定します。カレンダーは、最大で500まで設定することができます。 個別カレンダーの設定内容は、日替時に自動的にタイムプログラム機能へ展開されます。2年先まで設定・表示可能です。 システムカレンダー/個別カレンダーの年間固定日には、祝日(国民の休日)が、日付種別の休日(祝日)として初期設定されています。 システムカレンダー年間固定日は、個別カレンダーに展開できます。また、個別カレンダーごとに、年間固定日を設定することができます。
タイムプログラム	機器を自動的に起動(ON)/停止(OFF)する日時スケジュールを、タイムプログラムとして設定します。 タイムプログラムは1日最大8回の時刻を指定でき、自動出力する機器はタイムプログラムごとに最大30機器まで設定できます。 プログラム数 : 最大100/コントローラ 出力管理点 : 発停点(DO) 最大30ポイント/タイムプログラム 出力 : 施錠/解錠/一時解錠、警戒/非警戒、フリー/リミット/クローズ 出力回数 : 1日8回 • タイムプログラムの種類 タイムプログラムには、次の3種類のスケジュールがあります。 週間スケジュール : 週間スケジュールは、月～日曜日までの各曜日の運用パターンを設定したスケジュールです。 優先スケジュール : 優先スケジュールは、休日や特別な日などに、ほかの曜日とは別の運転スケジュールを設定する場合に使用します。 カレンダーに設定されている3種類の優先日(休日、特別日1、特別日2)に対して運用パターンを設定します。 実行スケジュール : 実行スケジュールは、本日から1週間分の運転スケジュールです。 週間スケジュールおよび優先スケジュールの設定内容が、実行スケジュールとして展開されます。
イベントプログラム	最大で250のイベントプログラムを設定できます。イベント条件ポイントは最大8ポイントまで、出力対象ポイントはイベントプログラムごとに最大30ポイントまで設定できます。 イベントプログラムは、登録したイベント条件ポイントの状態変化を監視し、条件が満たされた場合に、出力対象ポイントに対して、設定した動作を出力する機能です。システムデザイナー*1または、監視PCで設定します。
火災制御	火災制御とは、火災が発生している区分に関連する機器を強制停止し、他の制御を保留することです。火災制御で停止した機器は、監視PCからの起動/停止以外の操作は保留されます。火災の鎮火後は「火災制御」画面から火災状態を解除し、停止した機器の再起動、保留した制御の再開をします。

*1 システムデザイナーは、savic-ss EZ専用のエンジニアリング機能です。

機 能	内 容
火災時電気錠 解錠制御	火災発生時、自動的に電気錠の解錠を行い、非常時の避難経路を確保します。
電気錠制御/監視	照合結果からの電気錠の施解錠制御の他に、こじ開け監視、施解錠失敗監視および施解錠リトライ制御、扉開放監視を行います。 また、電気錠だけではなく、主として自動扉を想定した接点出力およびゲート装置にも対応しています。
警戒/非警戒連動制御	非警戒→警戒への切り替えにしたがって、照明の消灯制御などの他設備との連動制御を行います。 警戒→非警戒への切替時も同様です。
侵入者検知時威嚇 照明制御	警戒中は、パッシブセンサで侵入者を検知した場合、コントローラを介して照明設備との連動制御を行い、威嚇のための照明の自動点灯を実行します。
グローバルアンチ パスバック制御	カードリーダ種別(入リーダか退リーダか)と在室状態(入リーダ照合OKでIN、退リーダ照合OKでOUT)を比較し、論理的矛盾のないように入退室管理をする機能です。 これにより、カードの使い回しや伴連れなどの不正入退室を防止し、在室者管理をより厳密に管理します。
通行モード管理	ゲートの通行モードを管理し、通行モードの切替時に警備、電気錠の連動制御を行います。 <ul style="list-style-type: none"> フリーモード : 常時解錠しています。または照合操作ごとに施解錠を反転します。 リミットモード : 常時施錠しています。照合操作により、一時的に解錠します。 クローズモード : 出入を許可しません。*1
入退室制御 (出入照合制御)	カードリーダなどの照合操作について、ユーザー登録状態、カードフォーマット、暗証番号、入退室許可ルーム、クローズ特権、発行回数、有効期限などについて照合し、その結果にもとづき電気錠の施解錠を行い、各ルーム・エリアへの通行を制限します。
最終退室時点検	カードリーダでの最終退室操作時に、部屋内の扉や施錠状態をチェックします。扉が開いている、施錠していない場合は再点検を促します。
多ルーム制御	1台のカードリーダで、複数の部屋の電気錠の施解錠や警備切り替えを可能にする機能です。 液晶付カードリーダのみ対象です。1台のカードリーダから最大40ルームを選択して、操作できます。
ルーム暗証	運用パターンが「カードor暗証」または「カードor暗証(終退付)」の場合、ルームごとに設定した暗証番号のみで入退室できます。 高機能タイプ、およびスリム-IIタイプのLCD有モデルのみ対象です。 個人ごとの暗証番号は使用できません。
ツーパーソン照合	2枚の連続するカード照合操作を行い、両方共が照合OKになった場合にルームに入退室できる機能です。 高いセキュリティレベルが要求されるルームに適用することで厳重な入退室管理が実現できます。
エレベータ連動制御	行き先階のボタンを押す前に、カードリーダで照合し、当該ユーザーがあらかじめ与えられている出入権限を持っているフロアボタンのみ有効とします。それ以外の階のボタンを押しても無効とします。
外部移報	コントローラから警報などの情報を接点出力でき、送信機を経由して警備会社などへ移報を行います。
通行時間帯 スケジュール*2	該当ルームへの入退室可能な(通行)時間帯を個人ごとに制御します。通常の入退室管理での、どのルームに誰が入退室可能かの制御に加えて、その個人が入退室可能な時間帯も制御します。 したがって、本機能により、より細かい入退室管理ができ、運用の自由度とセキュリティ性の向上を実現します。

*1 クローズ特権ユーザーのみ許可。

*2 SCH用ACS-IIIが必要になります。

■ データインターフェース（オプション機能）

お客様のFTPサーバから、出入ユーザー情報を監視PCに自動取り込みできます。逆に、監視PCから必要な出入履歴情報をFTPサーバに送信できます。

表8 データインターフェース

機 能	内 容
出入ユーザー情報ファイル 自動取込機能	<p>お客様が指定したFTPサーバ内の指定のフォルダから出入ユーザー情報ファイルを監視PC(メイン)に取り込み、コントローラに転送できます。また、取り込み結果をFTPサーバに送信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出入ユーザー情報一括取込機能 最大で1日2回、1回あたり最大3万件、指定時刻に出入ユーザー情報ファイルをコントローラに転送します。 • 出入ユーザー情報緊急自動取込機能 紛失カードの情報や、その他緊急を要するカード情報の設定変更などを、データインターフェース用PCからネットワークを経由して受け取り、5分に1回（最大10件/1回）の周期で自動的に取り込んで、コントローラに転送します。
出入ユーザー情報ファイル 自動出力機能	<p>1日1回、指定時刻に、監視PC(メイン)に登録されている出入ユーザー情報を、FTPサーバの指定のフォルダに自動で出力します。 このファイルは、出入ユーザー情報一括取込または緊急自動取込で新たに出入ユーザー情報を取り込む際の参考データとして使用することができます。</p>
出入履歴ファイル 自動出力機能	<p>監視PC(メイン)は、特定のフォルダに、必要な出入履歴情報のみを抽出して、ファイル出力、FTPサーバの指定のフォルダに送信できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前日の出入履歴ファイル自動出力機能 監視PC(メイン)から、1日1回(00:15)、前日の出入履歴ファイルを出力できます。また、指定したカラムの先頭に指定文字が含まれる行を指定フォルダに出力できます。 例：ポイント名称に@などの指定文字を加え、特定ゲートに絞った履歴の公開などができます。 • 当日の出入履歴の、その時点までの差分ファイル自動出力機能 指定した時間間隔で、その時点までの出入履歴の差分を自動抽出します。抽出した差分ファイルと前回抽出してから発生した出入履歴の全データを、FTPサーバの指定のフォルダに出力します。 その際、前日の出入履歴ファイル自動出力機能と同様に、指定したカラムの先頭に指定文字が含まれる行のみを抽出することができます。

■ 在室者管理（オプション機能）

入室/退室時のカード操作から、区画（ルーム）に在室している出入ユーザーを特定し一覧表示します。また、指定した出入ユーザーの最新入室先、指定した区画の初入/終退などの情報を表示します。出入ユーザーが、カード操作をしないで入室したときなど、「在室状況」画面と実際の状況が異なる場合、画面から手動で出入ユーザーを在室者に登録/削除できます。

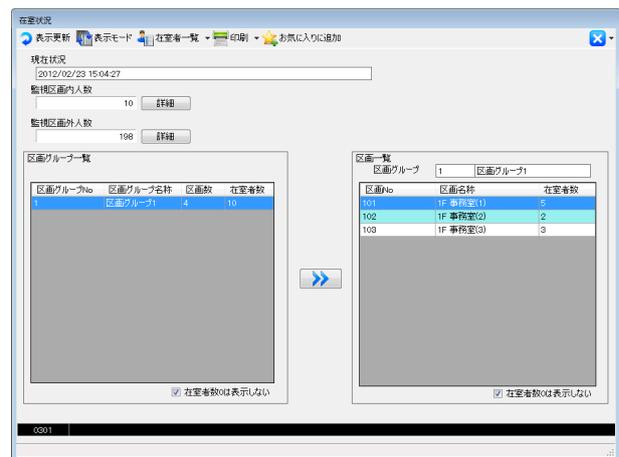


図9 在室者管理

表9 在室者管理機能

機能	内容
在室者表示	<p>カードリーダーでの照合操作から、各ルームの在室人数の確認、ルームに在室している人の確認、各人の個人情報・最新の入室先の確認、または指定ルームの初入者・終退者の確認を行える機能です。</p> <p>照合操作を行わずにルームに入退室した人を画面から操作し、在室者一覧に手動で登録/削除できます。</p> <p>表示は現在状況、過去状況、在室実績の3モードがあり、それぞれ現在の入退室状況を表示、過去のある時点の入退室状況を表示、ある期間内の該当ルームへ入退室があった個人の表示を行います。</p>
最新入室先を検索	管理Noまたは検索項目を設定して、出入ユーザーの最新の入室先を検索できます。
在室者の情報を印刷	全区画や区画グループ別、所属別など、範囲を指定して出入ユーザーの在室状況を印刷用のPDFファイルに出力することができます。
グラフィック画面での在室者数表示	グラフィック表示に表示されるシンボルに在室者数を設定できます。指定したルーム内の在室者数が表示されます。
在室イベントの設定	区画内の在室者数により発停ポイントにコマンドを出力するイベントを設定できます。

■ 安否情報出力（オプション機能）

在場者情報をお客様指定のFTPサーバにCSV形式ファイルで自動出力します。災害発生時*¹は点呼情報を付与し安否情報として出力します。

出力間隔は平常時災害発生時ともに1分または10分周期から選択できます。（初期値は10分）災害時は定周期以外に、ACS・Ⅲからの災害発生メッセージを、システムデザイナーで指定した監視PC（メイン、メイン以外どちらも可）で受信した際に1回出力します。

出力先は1監視PCあたり、最大4台です。（お客様指定のFTPサーバで3か所、監視PCのローカルフォルダで1か所）。

これにより、災害発生時の安否確認に対するオペレーションを強力に支援します。

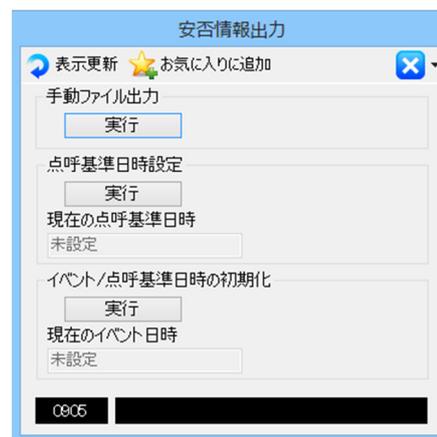


図10 安否情報出力

表10 安否情報出力機能

機能	内容
安否情報出力	お客様ご指定のFTPサーバに、CSV形式のファイルを自動出力します。* ² 安否情報出力を行う監視PC（メイン、またはメイン以外のどちらか）のローカルフォルダにも自動出力可能です。
災害発生時の安否情報出力	災害発生時は在場者リストに点呼状態の情報を付与することで安否情報として出力します。 点呼状態はカードリーダーでの入退室操作で更新され、1分または10分周期で出力される安否情報に反映します。（初期値は10分）
平常時の在場者情報出力	平常時は1分または10分周期で在場者リストを作成し、在場者情報として出力します。（初期値は10分） これにより災害でネットワークが遮断されても、遠隔地から災害発生直前の在場者情報を把握することができます。

*¹ 別途、地震センサや火災信号をACS・Ⅲへ入力する必要があります。

*² 出入ユーザー3万人登録、定周期出力1時間あたり6回、ファイル保存日数31日の場合、HDDの約50GBを消費します。
また、CSV形式ファイルの項目名は固定です。

■ ユーザーカスタマイズ機能

savic-ss EZは、目的に合わせて、操作性を向上するために、システムメニューをカスタマイズできます。また、必要に応じて、簡単に、オペレータが設定変更できる機能を備えています。

表11 ユーザーカスタマイズ機能

機能	内容
メニューエディタ	システムメニューに登録するメニューを監視PCごとにカスタマイズできます。
ブザー音設定	警報が発生したときに鳴動させるブザー音を設定できます。警報のレベルにより、「軽警報」「中警報」「重警報」「緊急警報」の4段階のブザー音に対して音声ファイルを設定できます。
グラフィックアイコン フロアの平面図など	グラフィック表示機能に使用するアイコンを設定できます。市販のグラフィック描画ソフトで作成したpng、gif、jpg形式のデータを取り込みます（推奨のデータ形式はpngです）。フロアの平面図などに、見取り図などのpng、gif、jpg形式のデータを取り込むことができます。
ユーザー暗証番号変更	非接触ICカードリーダー（高機能タイプ）は、管理者を介することなく、出入ユーザー本人が暗証番号の変更操作を行えます。管理者の手間を軽減するとともに、本人だけにしかわからない番号に変更することで、暗証番号の秘匿性を高めます。
ユーザー通行モード切替	非接触ICカードリーダー（高機能タイプ）は、権限を与えられた出入ユーザーは、オペレーションにて、通行モードの切り替えを行えます。管理者の手間を軽減するとともに、運用の利便性を高めます。

● 画面の構成

ディスプレイに表示される各画面は、呼び出したい画面をシステムメニューから選択して詳しい画面へと進んでいくことができるため、容易に必要な情報が表示できます。

また、あらかじめ使用頻度の高い画面を「お気に入り」に登録し、簡単な操作で表示することで、運用に合わせた画面操作ができます。

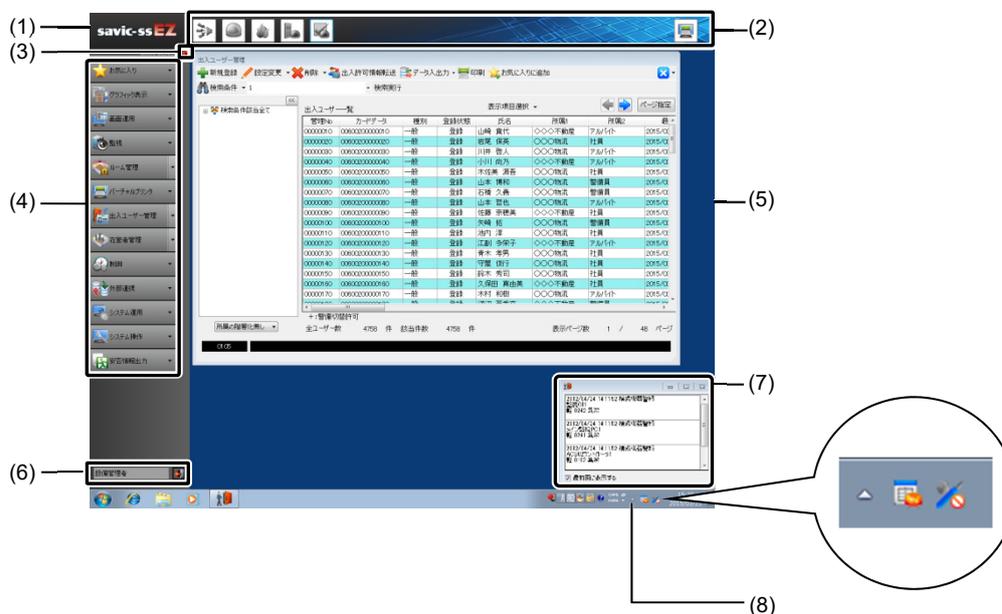


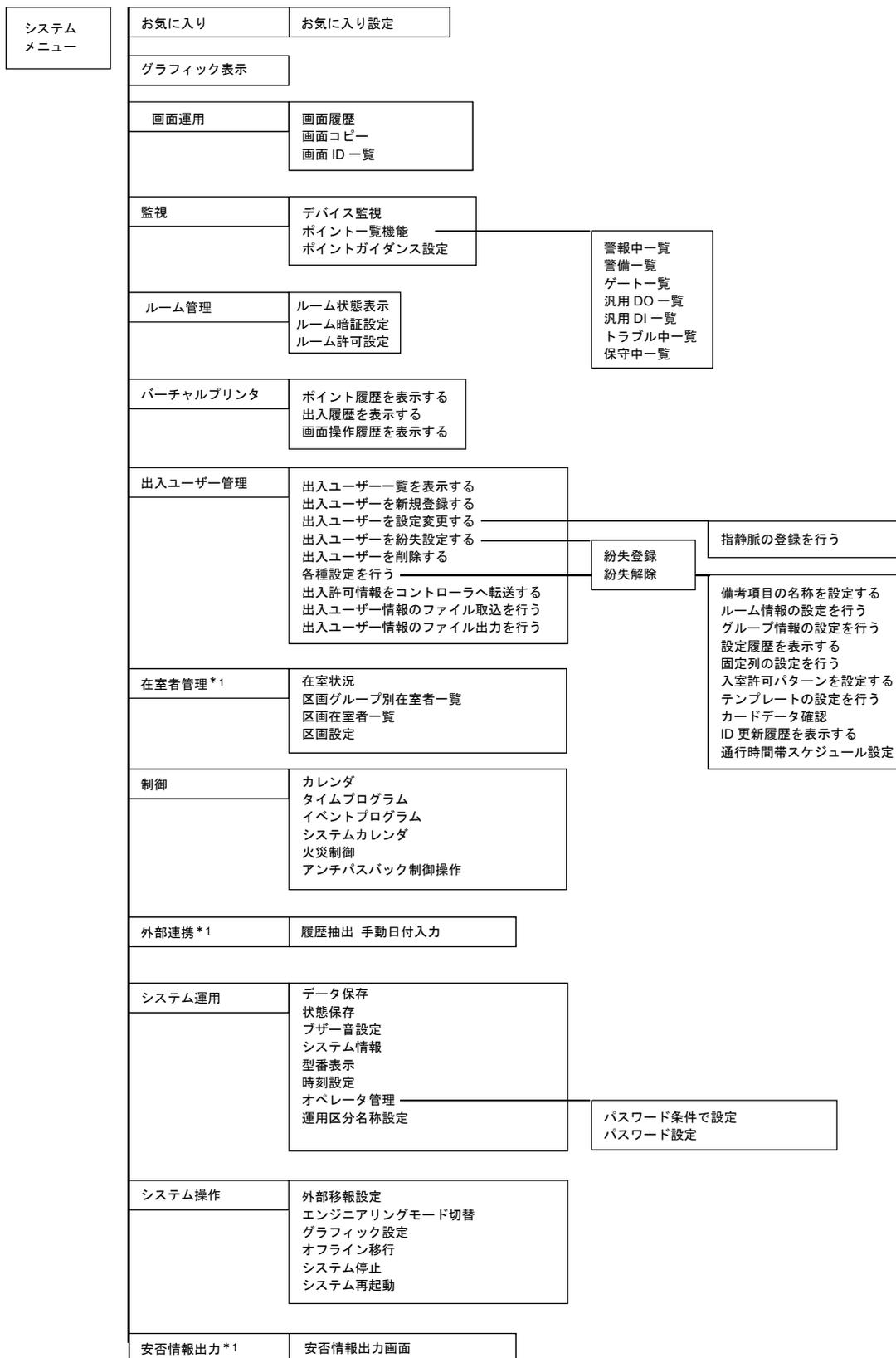
図11 画面の構成

表12 画面の構成

機能	内容
(1) ロゴ	メニューを隠しているとき、シングルクリックでメニューを再表示できます。システムのロゴをダブルクリックすると、画面IDを入力して画面を表示するためのダイアログが表示されます。
(2) インジケータ	発生中の警報がアイコンで表示されます。アイコンをクリックするとそれぞれの警報情報がメイン画面に表示されます。
(3) []/[]ボタン	クリックするとシステムメニューを自動的に隠すモードになります。システムメニューが非表示のとき、マウスを画面左端に近づけるとシステムメニューが再表示されます。
(4) システムメニュー	ボタンをクリックして、使用する機能呼び出します。
(5) メイン画面	機能ごとの監視・設定画面が表示されます
(6) ログインユーザー名表示エリア	ログイン中のオペレータ名が表示されます。ログアウト中はログインするためのボタンが表示されます。
(7) ニューアラーム	警報発生時にポップアップ表示されます。発生した警報の情報を確認できます。
(8) ニューアラームアイコン	タスクトレイのアイコンをクリックするとニューアラーム(7)が表示されます。

●システムメニューの画面ハイアラキ（初期状態）

システムメニューは、監視PCごとにカスタマイズできます。



*1 オプション機能です。

図12 システムメニューの画面ハイアラキ

■仕様一覧

表13 仕様一覧

(1/7)

機 器	項 目	仕 様	
監視PC本体 (動作環境)	OS	Microsoft Windows 10 Pro 64bit (弊社用意の場合) Microsoft Windows 8.1 Pro 64bit Microsoft Windows 8 Pro 64bit Microsoft Windows 7 Professional 32bit、64bit	
	CPU	2.5GHz以上	
	メモリ	4.0GB以上	
	HDD/SSD容量	150GB以上の空き容量があること。	
	光学ドライブ	CD/DVDドライブ 1台	
	USB	USB1.1以上、1ポート以上備わっていること	
	推奨機種	監視PC(メイン) 富士通製：ESPRIMO D588/B	
	その他注意事項		監視PC本体が故障した場合に備えて、システムのデータを自動または手動で定期的にバックアップ保存しておくことをお勧めします。
			savic-ss EZをインストールするPCには、次の設定が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ● 復電時に起動できるようにする。(BIOSの設定) ● UPSを使用する場合、適切な設定を行う。 ● モニタおよびHDD/SSDの電源が切断されないように設定する。
			Windowsのアップデートや、ウイルス対策ソフトのパターン更新など、外部ネットワークへの接続は、ルータなどの機器を使用し、必要なポート/プロトコルに限定した通過設定が必要です。
		Windowsのアップデートや、ウイルス対策ソフトのパターン更新など、PC本体の再起動が必要な場合は、手動で再起動が必要です。	
		ウイルス対策ソフトによって、savic-ss EZの通信が制限されないようにウイルス対策ソフト側の設定が必要です。	
		他のアプリケーションとの同時使用はできません。 監視PCを使用中に他のアプリケーションでPCのH/W故障診断を行うと、監視PCが正常に動作しない可能性があります。 PCソフトウェアがインストールされた状態でのOSアップグレードは、対応していません。	
		ノート型PCは、24時間連続稼働に適さないため、監視PC(メイン)としては利用できません。2台目以降の監視PCとして利用する場合でも、24時間連続稼働ではない運用でご利用ください。(推奨機種は、富士通製：LIFEBOOK A579/Bです)	
プロテクトキー		savic-ss EZ PCソフトウェアに付属するプロテクトキーを監視PCのUSBに差し込むことで動作します。 [補足] Sentinel System Driver Installer 7.5.2が自動的にインストールされます。	
ソフトウェア	savic-ss EZ 監視/管理ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● .NET Framework 4.5 ● Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable 10.0 ● Microsoft Visual Basic PowerPacks 10.0 [補足] 自動的にインストールされます。	
		<ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft SQL Server 2014 Express SP1(Windows 10の場合) ● Microsoft SQL Server 2008 R2 Express SP2(Windows 7/8/8.1の場合) [補足] 自動的にインストールされます。既にSQL ServerがインストールされているPCに、savic-ss EZをインストールしないでください。	
		Adobe Reader 9以上またはAdobe Acrobat 9以上	
キーボード		JISキーボードファンクションキー(F1～F12)が備わっていること	
マウス	—	弊社手配の場合、光学式マウス	
カラーグラフィックディスプレイ(LCD)	表示画面(解像度)	17/19型スクエア (1024×768ドット以上、1280×1024ドットを推奨する) 23/27型ワイド (1920×1080ドット)	
	表示色	65536色以上	
	表示文字	英数文字、カナ、漢字(JIS第1、第2水準)	

機 器	項 目		仕 様
プリンタ (弊社用意の場合)	印刷用紙		A4単票(弊社手配品)
	印刷色		65536色
	印刷方法		半導体レーザービーム操作+乾式電子写真方式
	印刷速度		フルカラー 4枚/分
	電源		AC100V±10%、50/60Hz、1630VA
4ゲート用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	150VA(120W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量		本体約10kg+UPS4kg(UPSありの場合)
	カードリーダー接続台数		入室用：4台 退室用：4台
	入出力仕様		汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入出力：4点 汎用出力：8点 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.4A)
	外形		449(W)×533(H)×176(D)mm
4ゲート用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	150VA(120W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量		本体約10kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)
	カードリーダー接続台数		入室用：4台 退室用：4台
	入出力仕様		汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入出力：4点 汎用出力：8点 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.4A)
	外形		455(W)×534.5(H)×185(D)mm
8ゲート用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	250VA(200W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量		本体約11kg+UPS4kg(UPSありの場合)
	カードリーダー接続台数		入室用：8台 退室用：8台
	入出力仕様		汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入出力：8点 汎用出力：8点 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.8A)
	外形		449(W)×533(H)×176(D)mm

(3/7)

機 器	項 目		仕 様
8ゲート用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	250VA(200W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量	本体約11kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	カードリーダー接続台数	入室用：8台 退室用：8台	
	入出力仕様	汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入力：8点 汎用出力：8点 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.8A)	
外形	455(W)×534.5(H)×185(D)mm		
DI用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量	本体約9kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：40点(うち1点はAC断入力DI40点目) 防犯センサー電源出力：最大56分岐(DC12V 合計4A)	
外形	449(W)×533(H)×172(D)mm		
DI用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量	本体約9kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：40点(うち1点はAC断入力DI40点目) 防犯センサー電源出力：最大56分岐(DC12V 合計4A)	
外形	455(W)×534.5(H)×185(D)mm		
DIO用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH(結露しないこと)
	質量	本体約9kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：40点(うち1点はAC断入力DI40点目) 防犯センサー電源出力：最大56分岐(DC12V 合計4A) 汎用出力：32点	
外形	449(W)×533(H)×172(D)mm		

機 器	項 目		仕 様
DIO用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH (結露しないこと)
	質量	本体約9kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：40点(うち1点はAC断入力DI40点目) 防犯センサー電源出力：最大56分岐(DC12V 合計4A) 汎用出力：32点	
外形	455(W)×534.5(H)×185(D)mm		
KBX用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	210VA(200W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH (結露しないこと)
	質量	本体約9kg+UPS5kg(UPSありの場合)	
	鍵管理ユニット-Ⅱ(KBX-Ⅱ)	1台	
入出力仕様	汎用入力：30点(うち1点はAC断入力DI30点目) 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC12V 合計2A)		
外形	449(W)×533(H)×172(D)mm		
KBX用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	210VA(200W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH (結露しないこと)
	質量	本体約9kg+カバー5kg+UPS5kg(UPSありの場合)	
	鍵管理ユニット-Ⅱ(KBX-Ⅱ)	1台	
入出力仕様	汎用入力：30点(うち1点はAC断入力DI30点目) 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC12V 合計2A)		
外形	455(W)×534.5(H)×185(D)mm		
SCH用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	50VA(40W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH (結露しないこと)
	質量	本体約8kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目)	
外形	449(W)×533(H)×172(D)mm		
SCH用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	50VA(40W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH (結露しないこと)
	質量	本体約8kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)	
	入出力仕様	汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目)	
外形	455(W)×534.5(H)×185(D)mm		

(5/7)

機 器	項 目		仕 様
Wiegand用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH
	質量		本体約11kg+UPS4kg(UPSありの場合)
	認証装置接続台数		入室用：2台*1 退室用：2台*1
	入出力仕様		汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入出力：2点 汎用出力：8点 認証装置電源出力：最大4分岐(DC24V 合計1.5A) 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.4A)
外形		449(W)×533(H)×172(D)mm	
Wiegand用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ	電源条件	電源電圧	AC100～110V
		定格周波数	50/60Hz
		入力容量	130VA(105W)
	環境条件	周囲温度	0～35℃
		周囲湿度	25～80%RH
	質量		本体約11kg+カバー5kg+UPS4kg(UPSありの場合)
	認証装置接続台数		入室用：2台*1 退室用：2台*1
	入出力仕様		汎用入力：10点(うち1点はAC断入力DI10点目) 電気錠入出力：2点 汎用出力：8点 認証装置電源出力：最大4分岐(DC24V 合計1.5A) 防犯センサー電源出力：最大14分岐(DC24V 合計0.4A)
外形		455(W)×534.5(H)×185(D)mm	
ネットワークゲート ウェイ (BACnet対応)	通信可能ポイント数		最大1000ポイント/システム(1台あたり最大300点)
	接続可能数		5台/システム
	外形		60(W)×140(H)×90(D)mm
	電源		AC100V 50/60Hz
	時刻バックアップ		なし(起動時ネットワーク上より取得)
カード登録用リーダー	電源仕様		入力電圧：AC90V～110V 消費電流：0.75A以下
	接続台数		PC1台につきカード登録用リーダー1台
	システム内での混在接続		システム内で異なる機種のカード登録用リーダーが混在可能
	LED表示		読取正常、読取異常、運転中、ブザー出力
	操作キー(セットキー使用)		ブザー出力/消音切替
	対応ICカード		FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S、MIFARE、eLWISSE
	カード読取距離		スリム-II用 FeliCa : 25mm MIFARE : 30mm eLWISSE : 5mm
	外形寸法		スリム-II用 : 130(W)×168.5(H)×130(D)mm (背面突起部およびカードリーダー含まず)
	質量		スリム-II用 : 約1.4kg(カードリーダー含む)

*1 指静脈認証装置を接続する場合、適用品は日立産業制御ソリューションズ製の指静脈認証装置FVA-100JL/FVA-100LSです。

機 器	項 目	仕 様
鍵管理ユニット-II (KBX-II)	取付	壁内埋込(専用埋込ボックス)/露出(架台あり)
	鍵ボックス数	10、20、30、50ボックス
	LED表示	リーダ部 : OK、NG、運転中、全警戒、全回線 ボックス部 : 施錠、解錠、貸出、保管、警戒、回線
	操作キー	テンキー、*、# (液晶タッチパネル)
	対応ICカード	FeliCa、MIFARE、eLWISE
	読取距離	25mm(FeliCa)、30mm(MIFARE)、 5mm(eLWISE)
	電源	AC100V
	外形	10ボックス : 390(W)×850(H)×130(D)mm 20ボックス : 490(W)×850(H)×130(D)mm 30ボックス : 580(W)×850(H)×130(D)mm 50ボックス : 760(W)×850(H)×130(D)mm
	質量	10ボックス : 約31kg 20ボックス : 約38kg 30ボックス : 約46kg 50ボックス : 約60kg
表面仕上げ	本体・扉 : ステンレスNo4クリアコート仕上げ	

(7/7)

機器	項目	仕様		
カードリーダー	非接触ICカードリーダー(スリム-IIタイプ)	形番	SRY470*	
	LCD有モデル/機能切替可能モデル/	取付	壁内埋込み(専用埋込みボックス)/露出(専用露出ボックス)	
	LCD無モデル/音声有・テンキー有モデル/	LED表示	OK、NG、解錠、警戒、回線	
	音声有・テンキー無モデル	LCD表示	16文字×2列キャラクタLCD	
	マルチ対応 非接触ICカードリーダー(スリム-IIタイプ)	操作キー	テンキー、セットキー	
	LCD有モデル/機能切替可能モデル/	対応ICカード	形番	01D0 FeliCa
	LCD無モデル/音声有・テンキー有モデル/		SRY470	04D0 FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S、MIFARE、eLWISE
	音声有・テンキー無モデル	読取距離	25mm(FeliCa、FeliCa Lite、FeliCa Lite-S)、30mm(MIFARE)、5mm(eLWISE)	
		電源	DC24V	
		外形	116(W)×120(H)×53(D)mm 壁からの突出部は12mm	
		質量	約0.3kg	
		表面仕上げ	弊社標準色	
		IP特性	IP34 (注) オプション部品使用時	
		非接触ICカードリーダー(高機能タイプ)	形番	SRY440*
	マルチ対応 非接触ICカードリーダー(高機能タイプ)	取付	壁内埋込み(専用埋込みボックス)/露出(専用露出ボックス)	
	エルワイズ対応 非接触ICカードリーダー(高機能タイプ)	LED表示	OK、NG、解錠、警戒、回線	
	エルワイズ対応 非接触ICカードリーダー(LCD無タイプ)	LCD表示	3.5型TFT液晶、タッチパネル、バックライト	
		操作キー	LCD+タッチパネル方式	
		対応ICカード	形番	01D0 FeliCa
			SRY440	03D0 eLWISE、FeliCa
	04D0 FeliCa、MIFARE、eLWISE			
	読取距離	25mm(FeliCa)、45mm(FeliCa*1)、30mm(MIFARE)、5mm(eLWISE)、10mm(eLWISE*1)		
	電源	DC24V		
	外形	140(W)×250(H)×58.5(D)mm 壁からの突出部は10mm		
	質量	約0.53kg		
	表面仕上げ	弊社標準色		
	IP特性	高機能タイプ IP32 (注) 防滴ボックス使用時		
		LCD無タイプ IP34 (注) オプション部品使用時		

*1 SRY44003*の場合

■ 外形寸法

(1) カードリーダー

- 非接触ICカードリーダー (スリム-II タイプ) LCD有モデル

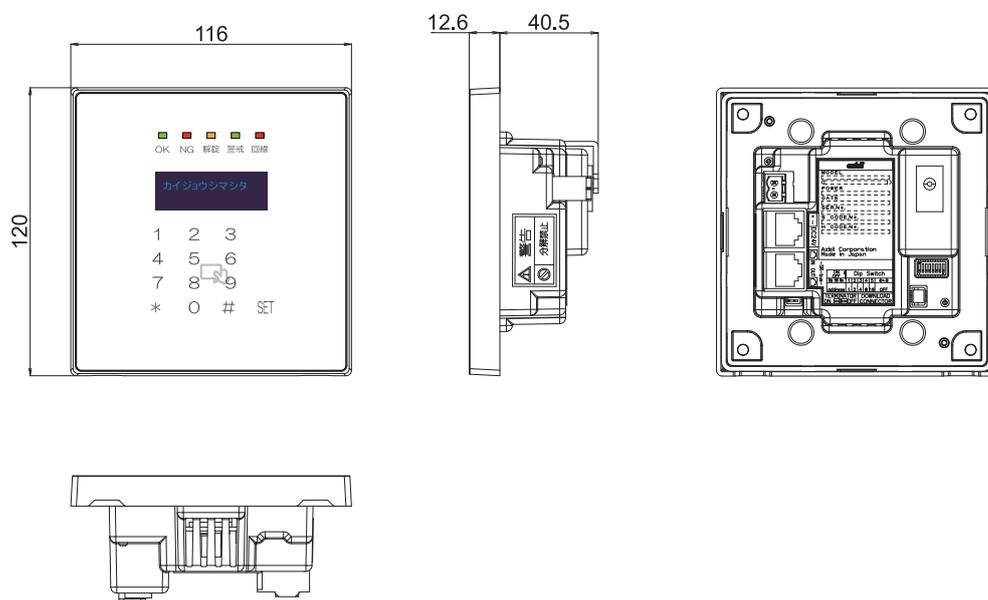


図13 外形寸法図 (mm)

- 非接触ICカードリーダー (スリム-II タイプ) LCD無モデル/機能切替モデル

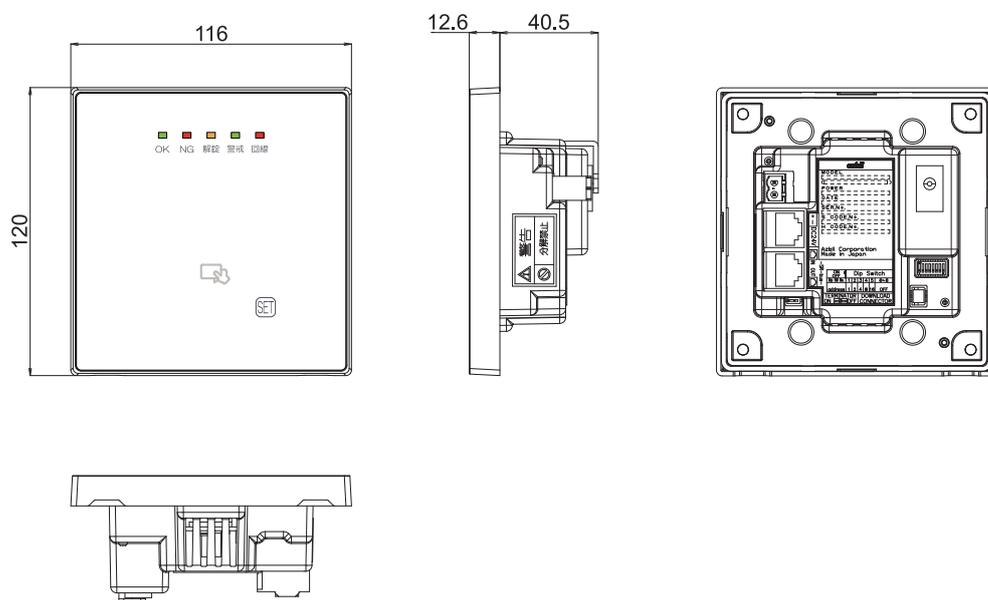


図14 外形寸法図 (mm)

- 非接触ICカードリーダー (スリム-IIタイプ) 音声有・テンキー有モデル

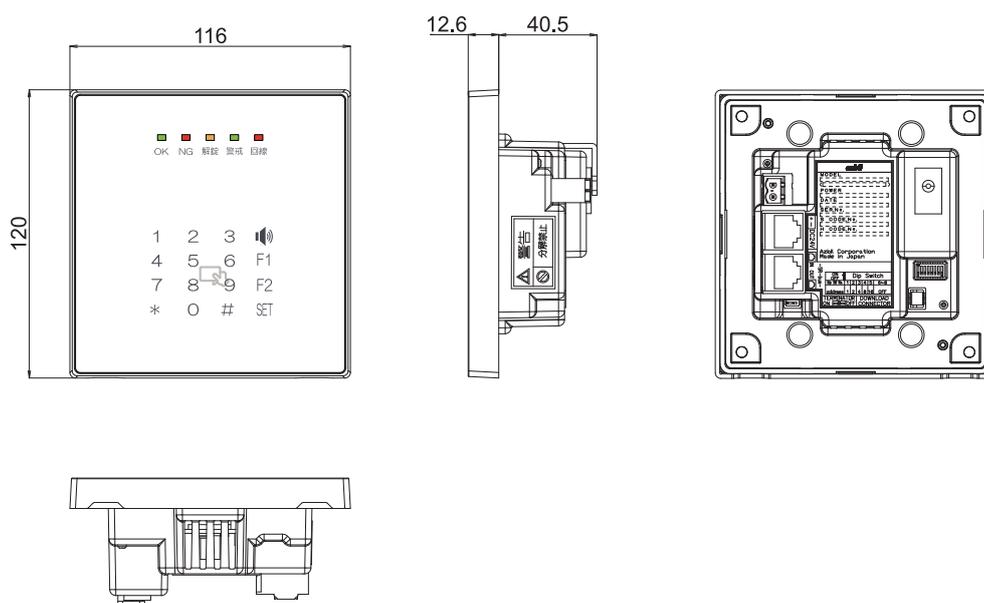


図15 外形寸法図 (mm)

- 非接触ICカードリーダー (スリム-IIタイプ) 音声有・テンキー無モデル

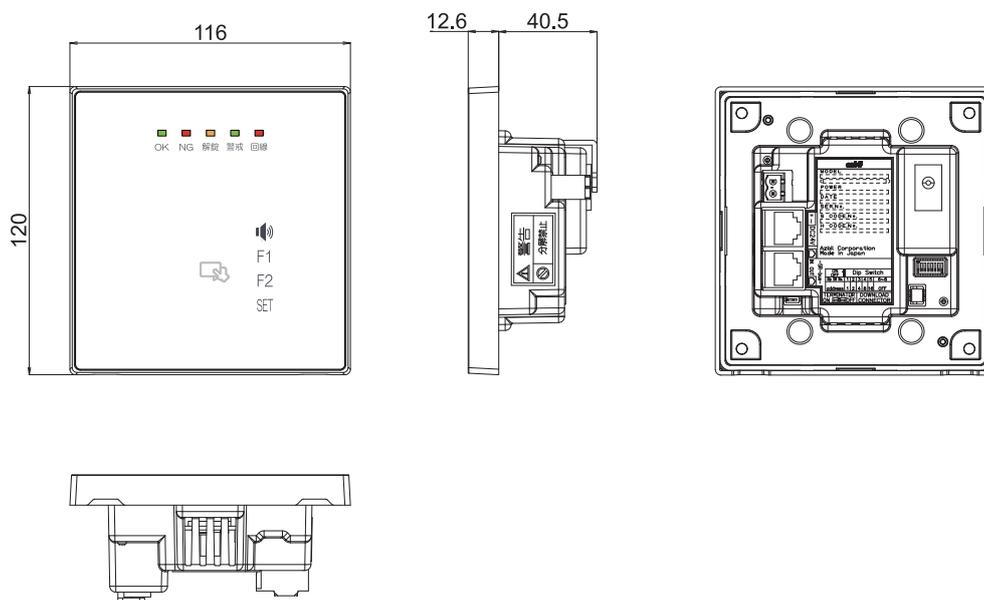


図16 外形寸法図 (mm)

- 非接触ICカードリーダー (高性能タイプ)

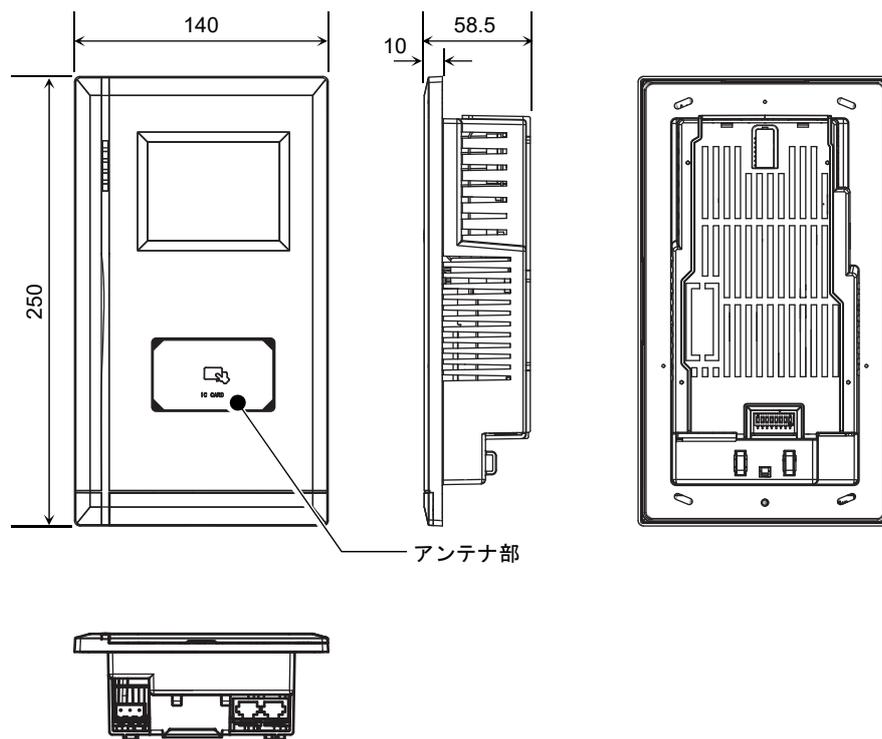


図17 外形寸法図 (mm)

- 非接触ICカードリーダー (LCD無タイプ)

* MIFAREは対象外です。

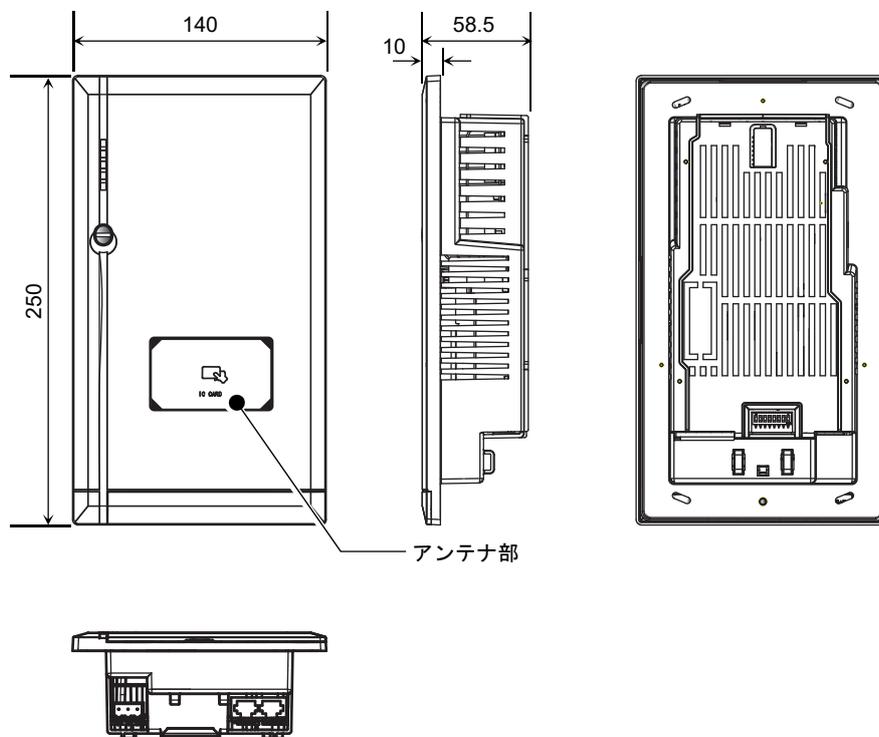


図18 外形寸法図 (mm)

(2) カード登録用リーダー

- カード登録用リーダー(スリム-II用)

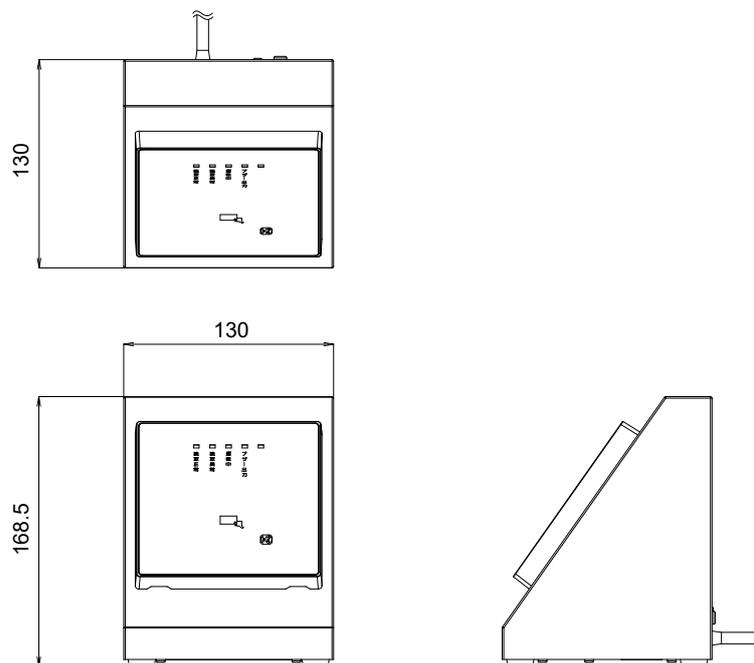


図19 外形寸法図 (mm)

(3) 鍵管理ユニット-II

- 鍵管理ユニット-II (10ボックス)

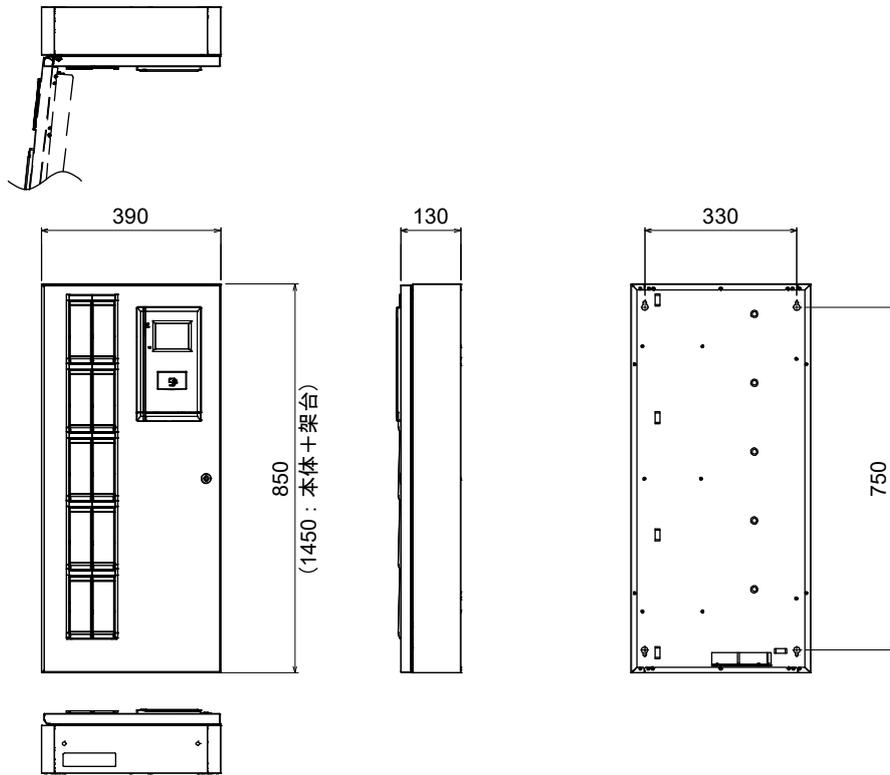


図20 外形寸法図 (mm)

- 鍵管理ユニット-II (20ボックス)

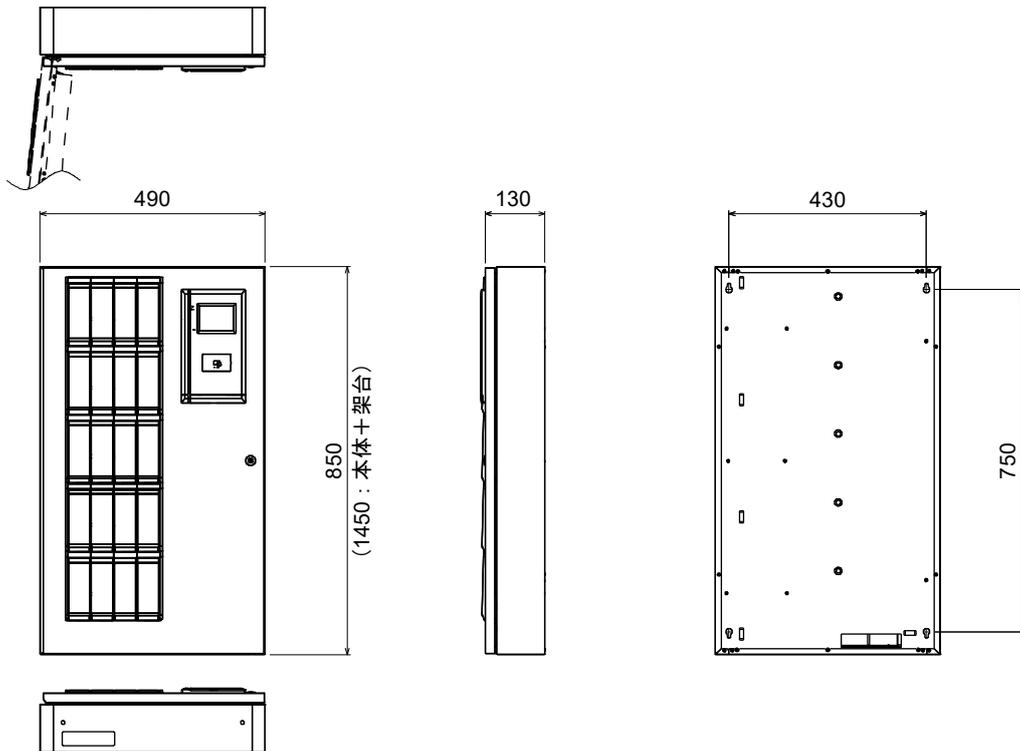


図21 外形寸法図 (mm)

● 鍵管理ユニット-II (30ボックス)

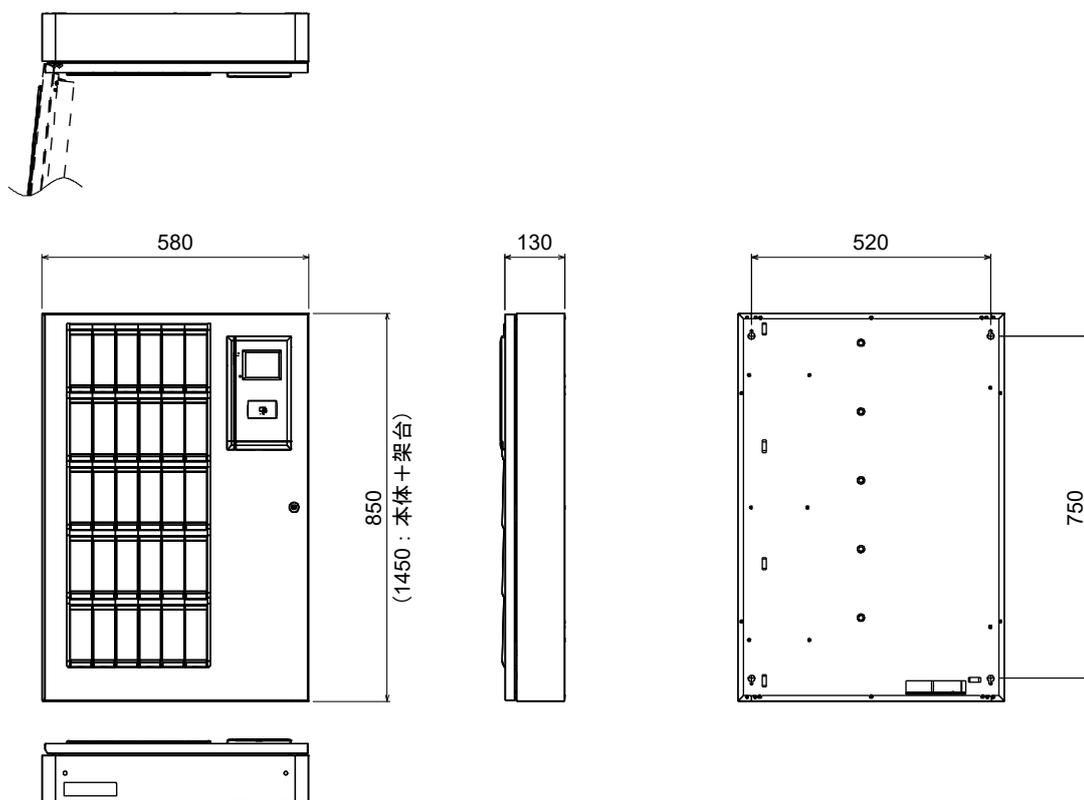


図22 外形寸法図 (mm)

● 鍵管理ユニット-II (50ボックス)

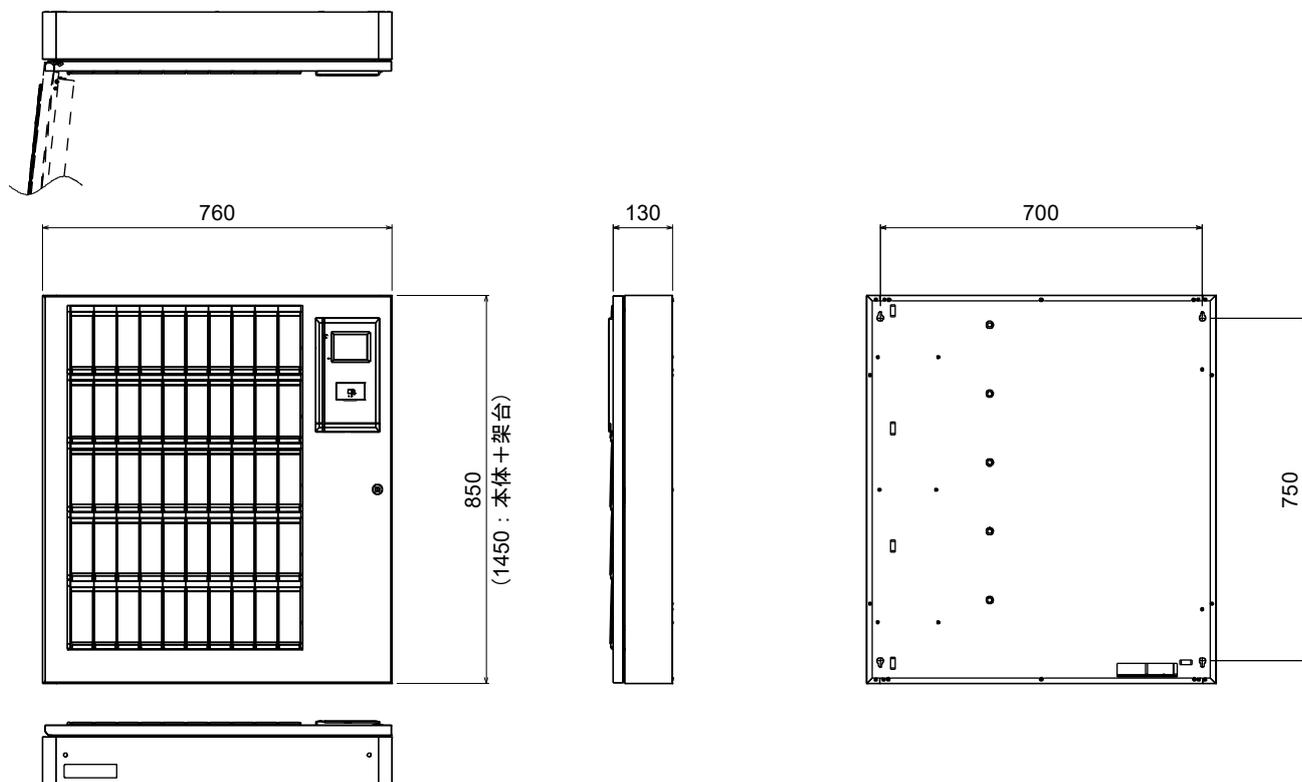


図23 外形寸法図 (mm)

(4)ACS-Ⅲ(アクセス・コントロール・ステーション)

●4ゲート用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ

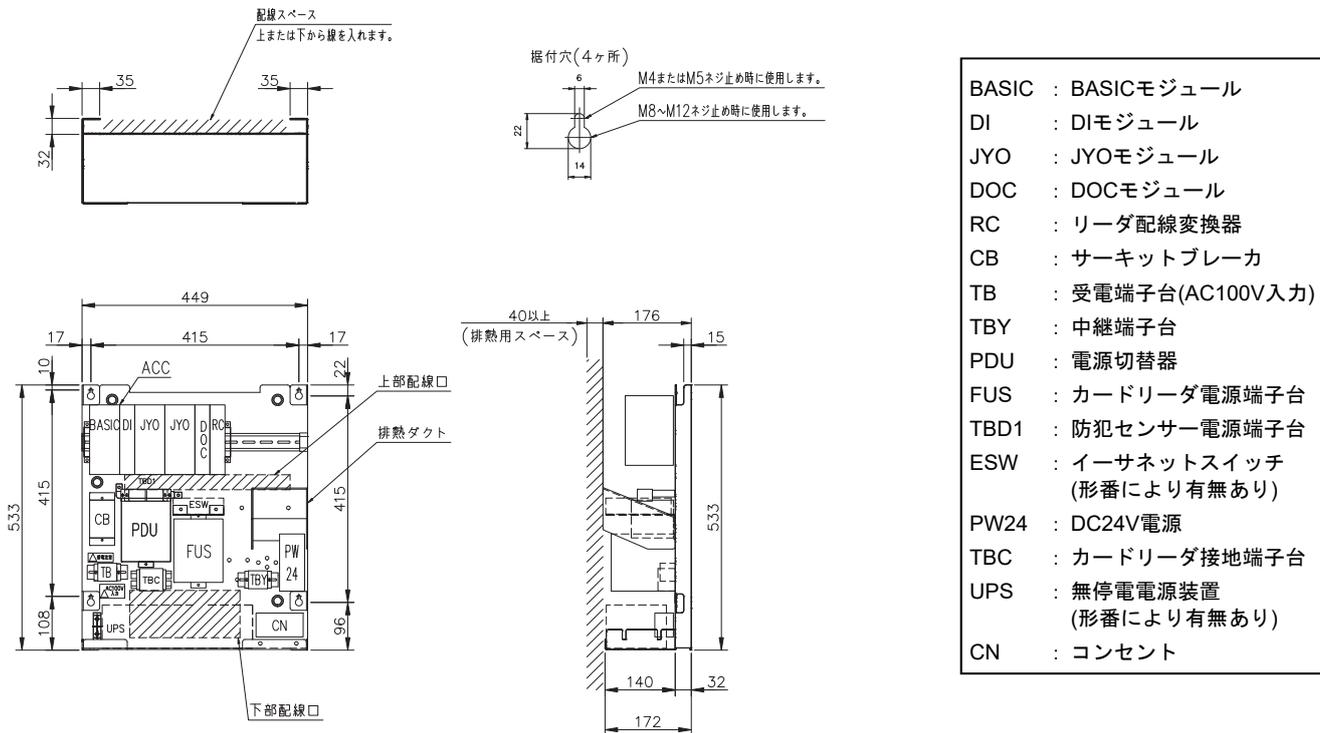


図24 外形寸法図 (mm)

●4ゲート用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ

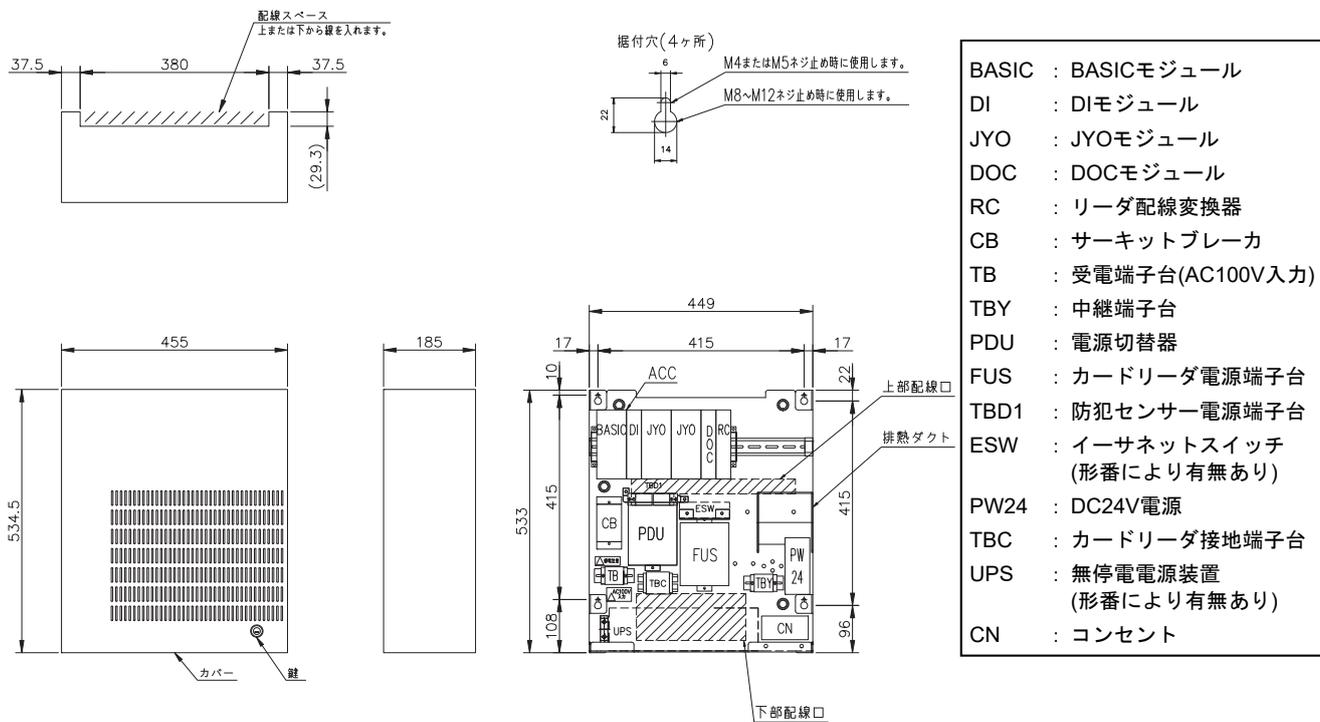


図25 外形寸法図 (mm)

●8ゲート用ACS-III サブパネルタイプ

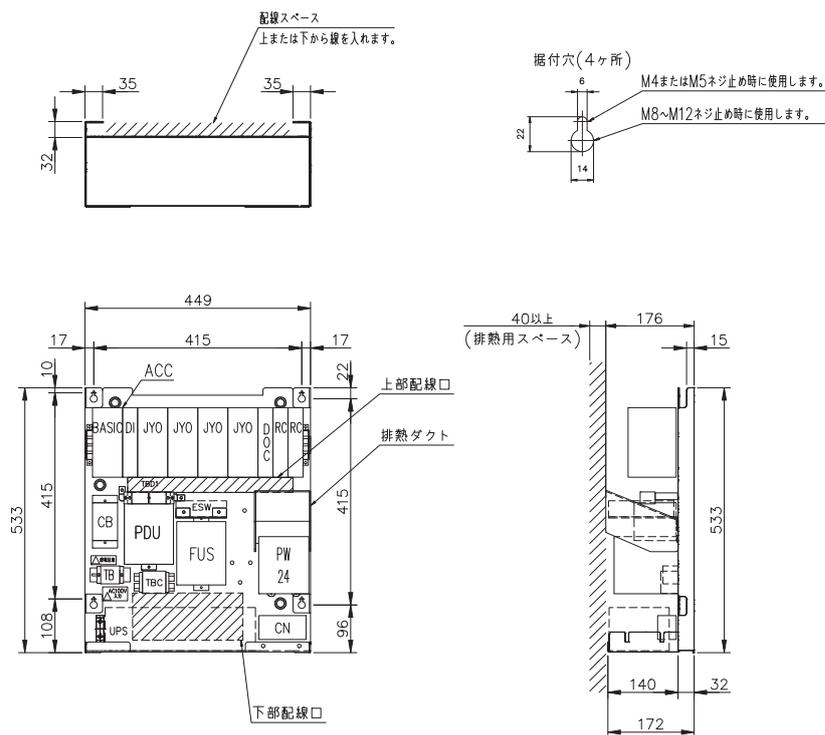


図26 外形寸法図 (mm)

●8ゲート用ACS-III 壁掛けタイプ

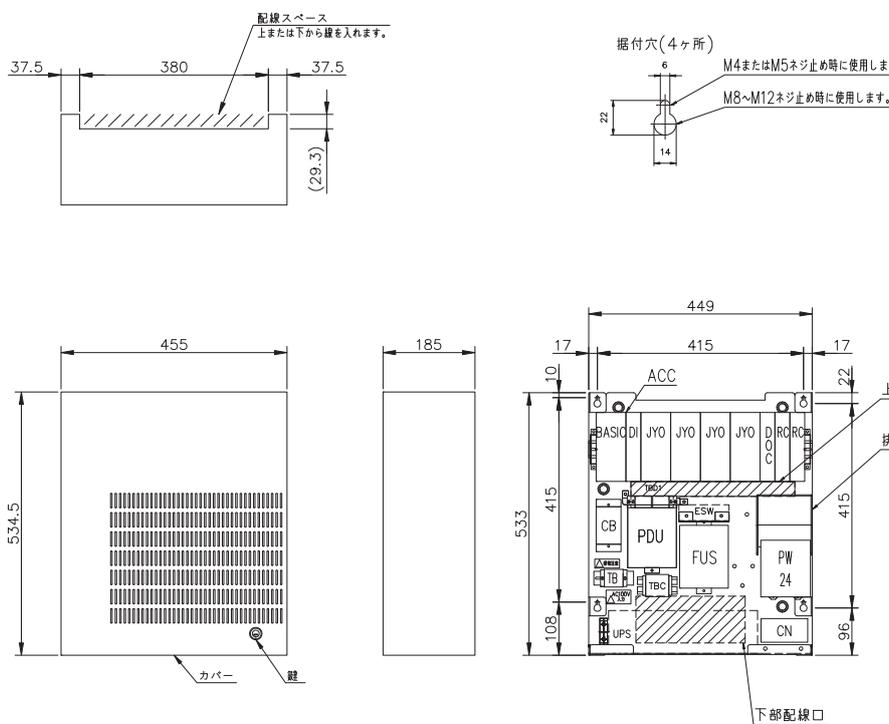
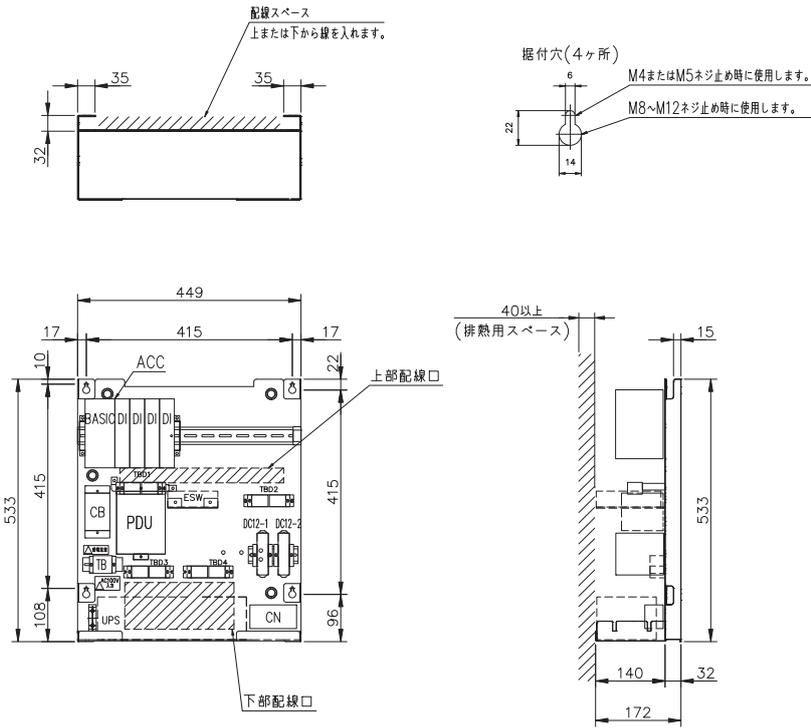


図27 外形寸法図 (mm)

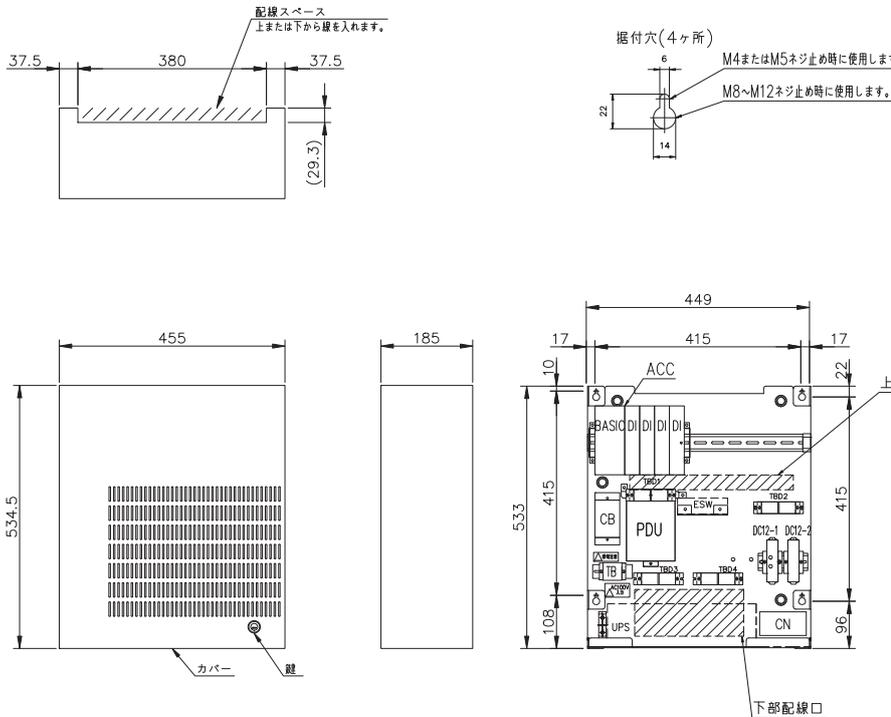
●DI用ACS-III サブパネルタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
TBD1~4	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12-1・2	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図28 外形寸法図 (mm)

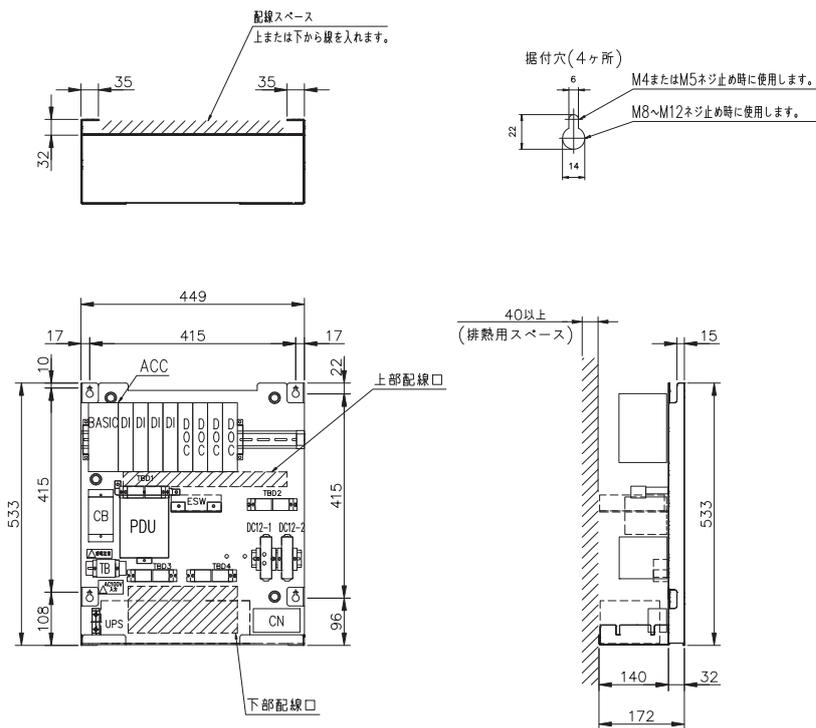
●DI用ACS-III 壁掛けタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
TBD1~4	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12-1・2	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図29 外形寸法図 (mm)

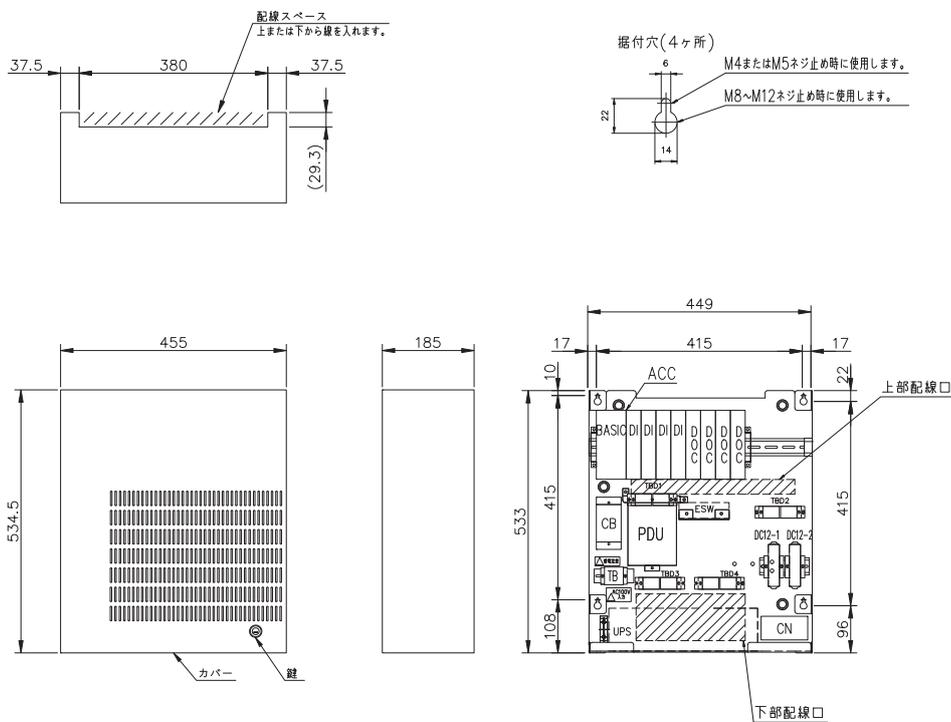
●DIO用ACS-III サブパネルタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
DOC	: DOCモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
TBD1~4	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12-1・2	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図30 外形寸法図 (mm)

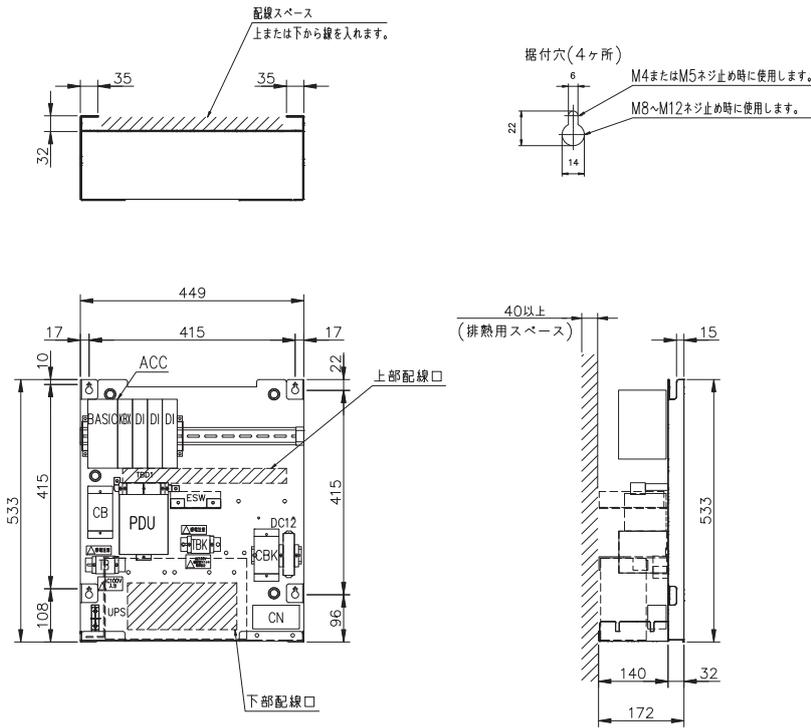
●DIO用ACS-III 壁掛けタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
DOC	: DOCモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
TBD1~4	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12-1・2	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図31 外形寸法図 (mm)

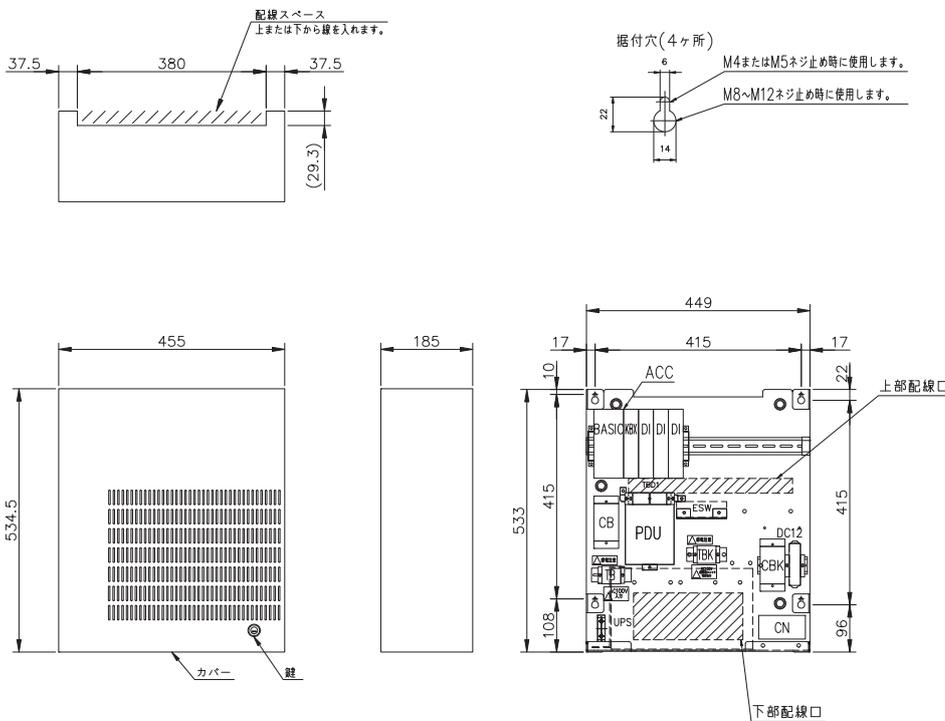
●KBX用ACS-Ⅲ サブパネルタイプ



BASIC	: BASICモジュール
KBX	: KBXモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サークットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
CBK	: サークットブレーカ (KBX電源用)
TBK	: KBX電源端子台 (AC100V出力)
TBD1	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図32 外形寸法図 (mm)

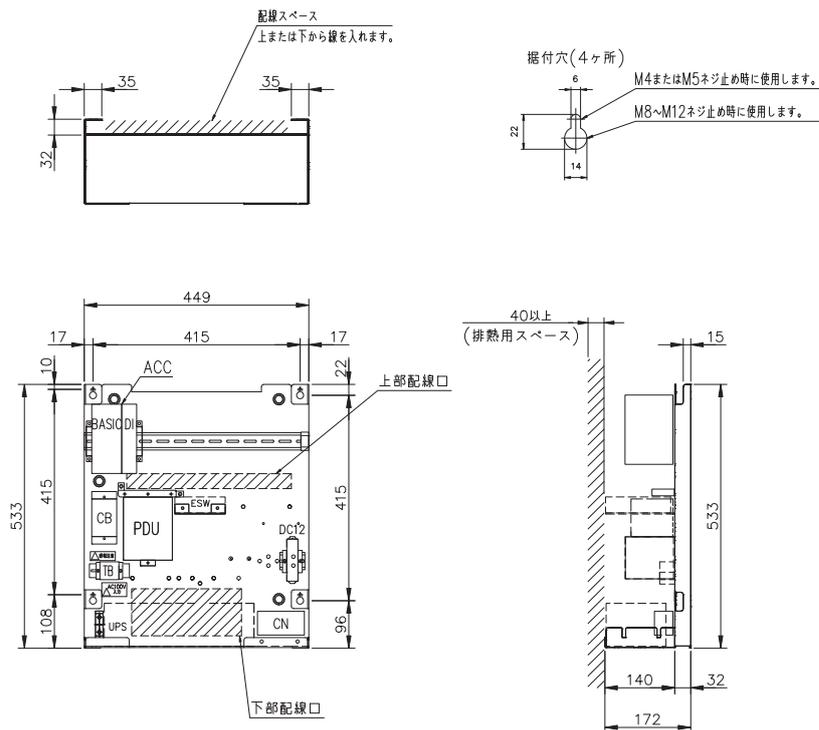
●KBX用ACS-Ⅲ 壁掛けタイプ



BASIC	: BASICモジュール
KBX	: KBXモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サークットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
CBK	: サークットブレーカ (KBX電源用)
TBK	: KBX電源端子台 (AC100V出力)
TBD1	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図33 外形寸法図 (mm)

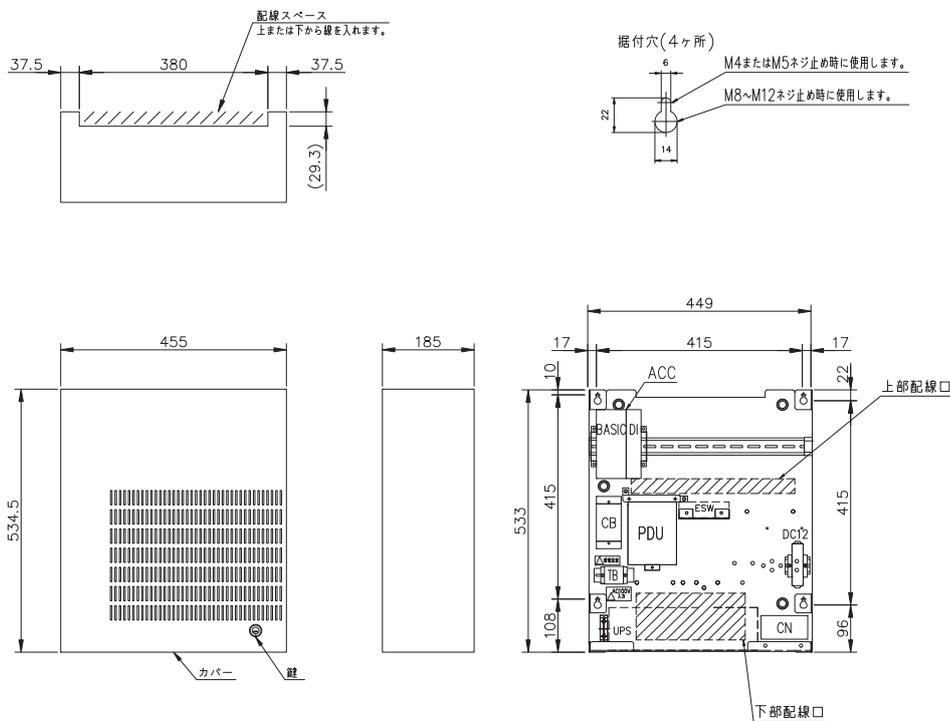
●SCH用ACS-III サブパネルタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図34 外形寸法図 (mm)

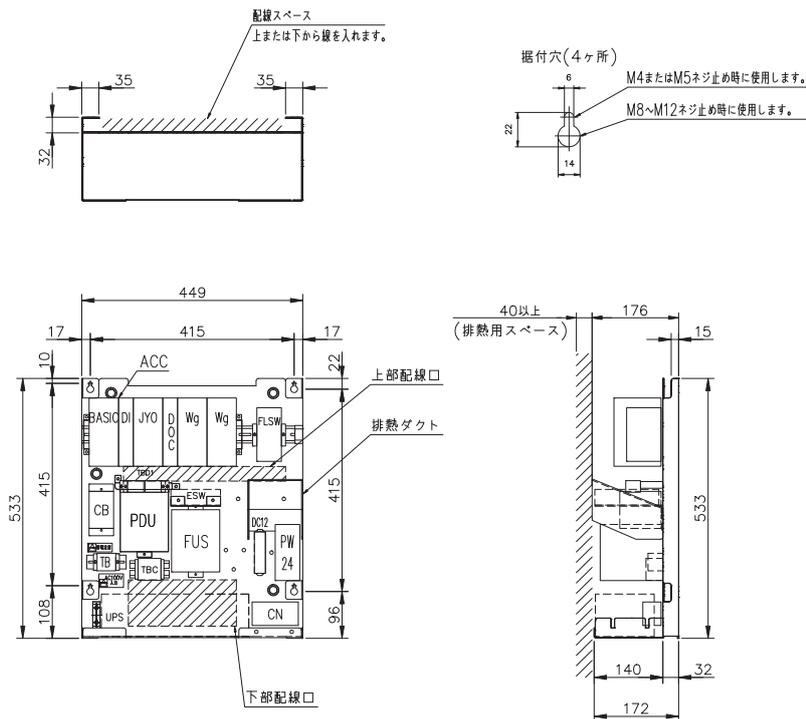
●SCH用ACS-III 壁掛けタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
DC12	: DC12V電源
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図35 外形寸法図 (mm)

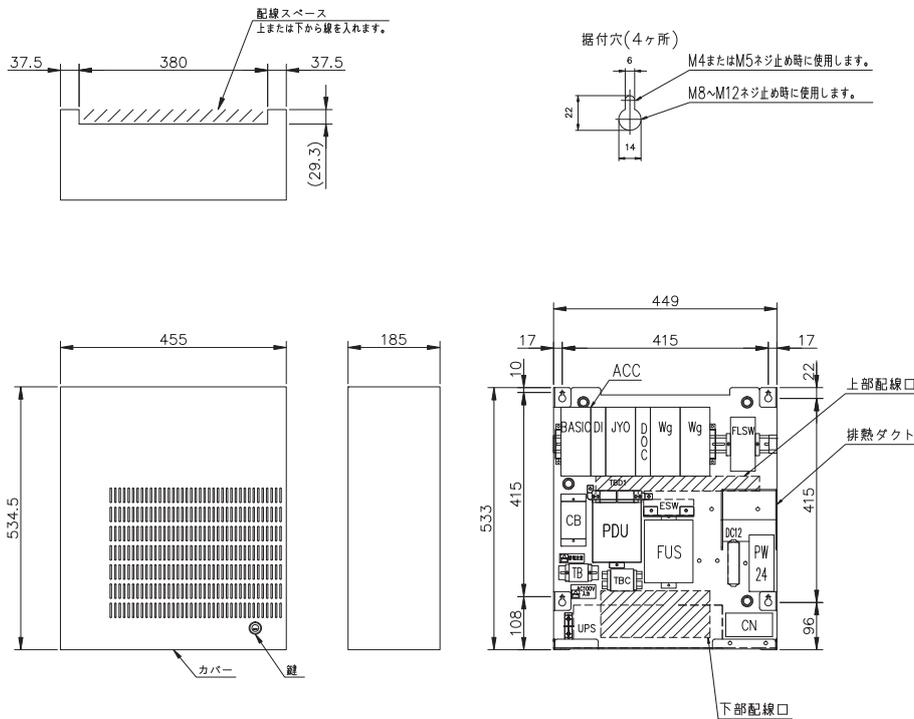
● Wiegand用ACS-III サブパネルタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
JYO	: JYOモジュール
DOC	: DOCモジュール
Wg	: Wiegandモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
FUS	: 認証装置用電源端子台
TBD1	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
FLSW	: 認証装置用イーサネット スイッチ
PW24	: DC24V電源
DC12	: DC12V電源
TBC	: 認証装置用接地端子台
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図36 外形寸法図 (mm)

● Wiegand用ACS-III 壁掛けタイプ



BASIC	: BASICモジュール
DI	: DIモジュール
JYO	: JYOモジュール
DOC	: DOCモジュール
Wg	: Wiegandモジュール
CB	: サーキットブレーカ
TB	: 受電端子台(AC100V入力)
PDU	: 電源切替器
FUS	: 認証装置用電源端子台
TBD1	: 防犯センサー電源端子台
ESW	: イーサネットスイッチ (形番により有無あり)
FLSW	: 認証装置用イーサネット スイッチ
PW24	: DC24V電源
DC12	: DC12V電源
TBC	: 認証装置用接地端子台
UPS	: 無停電電源装置 (形番により有無あり)
CN	: コンセント

図37 外形寸法図 (mm)

(5) ネットワークゲートウェイ(BACnet対応)

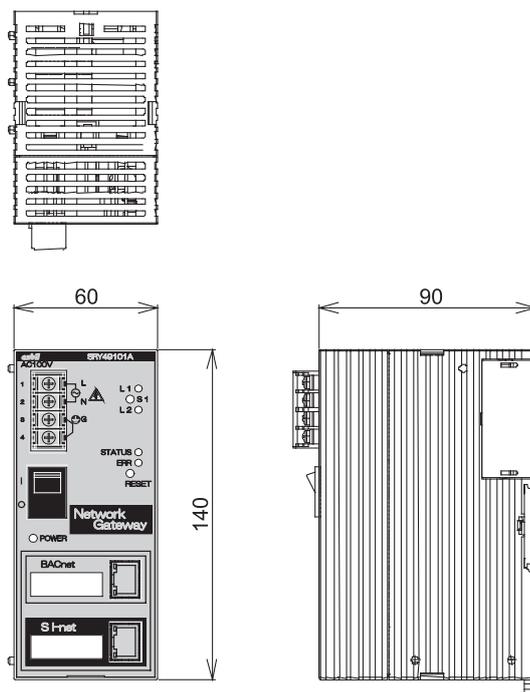


図38 外形寸法図 (mm)

■ 保守交換部品

● 汎用機器（弊社提供の場合）

部品名称（交換単位）	交換周期
監視PC本体	SSDモデル：5年、HDDモデル：3年
監視PC用ディスプレイ(LCD)本体	3年
監視PC用レーザープリンタ本体	3年

● ACS-III

部品名称（交換単位）	交換周期
リチウム電池	5年
DC電源	10年
UPS本体（UPS有の場合）	5年
UPS用バッテリー（UPS有の場合）	2年
ESW（ESW有の場合）	10年

- * AdobeおよびAcrobatは、米国およびその他の国におけるAdobeの登録商標または商標です。
- * BACnetは、ASHRAEの商標です。
- * eLWISSEは、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の商標です。
- * FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- * FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- * Microsoft®およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * MIFAREは、NXPセミコンダクターズの商標です。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、予告なく変更する
場合もありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ
0120-261023

<https://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。